

一 米国民法制定及修正一件 二二

遊者並右等ノ正妻又ハ十六歳以下ノ子女ニシテ之ニ帶同セラル、カ若ハ其後合衆国入国ヲ出願スル者但シ右等ノ者又ハ其正妻若ハ其ノ外国出生児ニシテ之ヲ例外階級ニ屬セシメタル地位又ハ職業ヲ合衆国ニ於テ維持セサル者ハ合衆国ニ不法ニ居住スル者ト認メ本法第十九条ニ依リ送還セラルヘシ

本項ノ規定ニ違反シ合衆国ニ入国シ若ハ入国セントスル者ハ輕罪ノ罪ヲ以テ論シ五千弗ノ罰金若ハ一年ノ禁錮又ハ其ノ兩者ニ処ス

註 一九一七年二月五日制定ノ米国民民法ニ付テハ日本外交文書大正七年第一冊一文書ノ附記参照

二二 十二月四日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米國ニ於テ市民タル資格無キ外国人ノ出生児
ニ米國籍ヲ認メザル趣旨ノ憲法修正案米國議
會ニ提出ノ件

第二一二号

大臣宛在米大使電左ノ通

第八四四号

十二月二日華盛頓州選出上院議員 Johns ハ左記趣意ノ憲法修正 Concurrent resolution ヲ提出シ右ハ直ニ司法委員ニ附託セラレタリ

將來米國內ニ生レタル外国人ノ子ハ其両親ガ米國市民タル資格アルニ非ザレバ米國市民タルヲ得ズ

各領事「ホノルル」ヘ電セリ

事項二 米國各州ノ排日問題雜件

二三 一月十四日 在ポートランド木村領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オレゴン州議會下院ニ外国人土地所有禁止法案提出ノ件

第一号 (一月十五日接受)

一月十三日オレゴン州議會下院ニ外国人土地所有禁止法案提出セラレタリ、詳細取調中ナルモ不取敢報告ス
在米大使ヘ電報セリ

二四 一月十六日 在ポートランド木村領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オレゴン州下院ノ外国人土地所有禁止法案ノ

要領及其対策ニ付報告ノ件

(一月十七日接受)

第二号
往電第一号ニ関シ
土地案要点ハ

(一) 本法案実行後外国人ニシテ土地ヲ獲得シタル者ハ七箇年以内ニ自ラ米國人民トナルカ若クハ善意ノ第三者ニ之ヲ

二 米國各州ノ排日問題雜件 二三 二四 二五

売買讓渡セザルトキハ該土地ハ州ニ沒收セラルヘシ

(二) 持主ノ過半数カ米國人民タラザル法人ハ土地ヲ獲得スルコトヲ得ズ

(三) 右法人カ抵当權実行ニ依リ土地ヲ取得シタル場合之ヲ七箇年以内ニ米國人民ニ善意ニ売買讓渡セザルトキハ州ニ沒收ス此規定ハ個人ニ對シテモ同シ

(四) 外国人ノ土地租借期限ハ二十一年トス法人モ同シ

右法案ハ下院議員 C. Schuebel (Oregon City 選出) 弁護士(共和黨)ノ提出ニ係リ any alien ナル文字ヲ用キ加州土地法ノ如ク alien eligible to citizenship 等ノ字句ヲ含マズ一般外国人ニ適用サルモノナルモ事實上本案通過ノ結果ハ本邦人ハ七箇年以上土地ヲ所有スル能ハザルコトトナルヲ以テ当地日本人會ヲ通シ商業會議所ニ依頼シ該案防止ノ運動ヲ開始セシメタリ議案郵送ス
在米大使ヘ電報セリ

二五 一月十八日 在ポートランド木村領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二三

オレゴン在留英國人ノ外國人土地所有禁止法

案反對並商業會議所役員會ノ該法案通過防止

決議ノ件

第三号

(一月十九日接受)

往電第二号ニ関シ

商業會議所書記長 Dodson ノ談ニ依レハ当地方財界ニ重要ノ關係ヲ有スル在留英國人ハ本案中法人(Corporation)ニ關スル規定ニ對シ特ニ故障ヲ唱ヘ商業會議所ハ為ニ役員會ヲ開キ極力該案通過ヲ防止スベキコトヲ決議シ其實行委員ヲ選定セリトノコトナリ

右ハ我ニ取り頗ル都合ナルニ付此際特ニ日本人トシテ表面ニ立チ運動スルヲ避ケ局面ノ發展ヲ監視中ナリ
在米大使ヘ転電セリ

二六

一月二十四日

在ポートランド木村領事館事務代理
ヨリ
内田外務大臣宛

オレゴン州議會ニ提出サレタル外國人土地所

有法案通過阻止運動ニ關スル件

機密公第二号

(二月二十一日接受)

大正八年一月二十四日

在ポートランド領事館

事務代理 木村朝之輔(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

本月十三日当オレゴン州議會下院ニ外國人土地所有法案提出セラレタル趣ハ同月十四日往電第一号ヲ以テ及御報告又該法案ヲハ本月十六日附公第七号ヲ以テ及御送付置候処同案ハオレゴン州「クラカマス」郡選出弁護士共和黨議員 C. Schuebel ナルモノノ提出ニ係リ其要点ハ本月十六日拙電第二号報告ノ通り

(一) 本法實施後外國人ニシテ土地ヲ獲得シタルモノハ七ヶ年以内ニ自ラ米國市民トナルカ若クハ之ヲ善意ノ第三者ニ売買譲渡スルヲ要ス若シ之ニ違反スルトキハ該土地ハ州ニ沒收サルベク

(二) 株主ノ過半数ガ米國市民タラザル Corporation 又ハ Association ハ本法實施後土地ヲ獲得スルヲ得ズ但抵當權実行等ニ依リ土地ヲ取得シタル場合ハ例外ナルモ此等ノ場合ニハ之ヲ七ヶ年以内ニ米國市民ニ売買譲渡スルヲ要シ之ニ違反スルトキハ該土地ハ州ニ於テ沒收

ス右抵當權実行ニ關スル規定ハ個人ニモ同様適用ス

(三) 外國人ハ Business, Trade, Manufacture ノ目的ノ為

ニ二十一ヶ年ヲ過ギザル期間内土地ヲ租借スルヲ得ト云フニ在リ右ニ依レハ本法通過ノ曉ハ歸化權ナキ本邦人並ニ本邦人經營ノ Corporation ハ七ヶ年以上土地ヲ所有スル能ハザルノミナラズ右(三)ハ「外國人ハ Business, Trade, Manufacture ノ目的ノ為ニ土地ヲ租借スルコトヲ得」ト土地租借ノ目的ヲ列挙シ其中ニハ農業ナル語ヲ含マザルヲ以テ農業ノ為ニハ土地ヲ lease スルヲ得ズト解釈シ得ベク然ラバ借地農業ヲ主要職業トスル当地方在留本邦人ニトリ容易ナラザル結果ヲ齎スコトナルベシ而シテ本案提出ノ動機ナリト云フヲ聞クニ提出議員 Schuebel ノ居所「クラカマス」郡地方ハ独逸人ノ在住スルモノ多ク是等独逸人ノ大多数ハ何レモ多年同地方ニ於テ農業ニ從事シ居ルニ拘ラズ当國ニ歸化スルモノ少キノミナラズ今次ノ戰爭ニ関シ米國側ニ於ケル軍事公債募集其他各種軍事運動ニ對シ態度甚ダ冷淡ニシテ成績頗ル良好ナラザリシニ鑑ミ此際此種好マシカラザル外國人ヲシテ出来得ル丈ケ歸化セシムル方針ヲ執リ所謂「Americanism」ヲ実行スル上ニ於テ本

案ハ是非共必要ナリト云フニアルモノノ如ク右ハ時節柄一般愛國心ニ Appeal スルコト強ク表面上米國人トシテハ何人モ之ニ反對スベキ余地ナキモ只本邦人其他州法上歸化權ヲ認メラレザル外國人ハ仮令歸化ヲ希望スルモ実行不可能ナルヲ以テ恰モ本案ノ側杖ヲ喰ヒタル容ニテ左リトテ本案表面ノ意義ハ前述ノ通りナレハ公然之ニ反對スルハ米國人ノ愛國主義鼓吹ト相反スルノ觀ヲ呈シ頗ル delicate ナル地位ニ立タザル可カラズ而モ本案通過ノ結果ハ前述ノ通り本邦人ニ取り大打撃トナルベキニヨリ小官ハ本月十六日当地日本人會ノ發意トシテ同會代表者ヲシテ当地商業會議所ヲ訪問セシメ本案ノ本邦人ニ影響スル所大ナル所以ヲ説キ近年本港日本間直通航路開始計画其他彼我通商關係益密接ナラントスル今日此種法案ノ成立ハ頗ル好マシカラザル次第ニ付之ガ通過ヲ防止セラレ度旨ヲ述ベシメタルニ同會議所ハ之ヲ快諾シ極力該案ノ採消ニ尽力スベキコトヲ約シ直チニ首都 Salem ニ人ヲ派シテ其取調ヲ開始セリ然ルニ偶々当地在住英國人側ヨリモ亦該法案第四条 Corporation ノ規定ニ關シ苦情起レリ元來当地方ニハ英國人加奈陀人等ノ土地其他ニ投資セルモノ多ク是等英國人等ガ本案通過ノ結果

其為ニ特ニ米國ニ歸化セザルベカラズトセバソハ彼等ノ堪
ユル所ニ非ズ為ニ此方面ヨリモ故障ヲ申立テ前述ノ日本人
側ヨリノ依頼ト相俟テ商業會議所ヲ動かシ同會議所ハ本
月十八日特ニ役員會ヲ開キ極力該案通過ヲ防止スベキコト
ヲ決議シ其實行委員トシテ左ノ五名ヲ選舉セリ

J. O. Elrod 大地主

D. A. Partulo バルフォアガスリイ商會重役

J. W. Gonony ポートランドブラワリングミル總支配人

C. E. Dant ダント・ラッセル製材會社社長

Fred Seller 雜貨輸入商

而シテ右委員等ハ万一揉消運動不成功ノ場合ニハ國務省ニ
請願シテ迄モ本案ハ防止セザルベカラズトノ意氣込ナリト
云フ

右商業會議所運動ノ外本月十六日目下当州上院議員ニシテ
一昨年オレゴン州議會ニ土地案ノ提出セラレタル際支那人
団体ノ依頼ニ応ジ尽力シタルコトアル弁護士 W. W. Banks
ヨリ本案防止方ニ関シ尽力シタキ旨申出アリ同人ノ言ニ依
レバ同人自身ハ現在席ヲ上院ニ有スル故自ラ其衝ニ当ル能
ハザルモ同人ト Partner リテ法律事務經營中ナル Scott ナ

ル者ハ一昨年議會ニ下院議員且當時 Judiciary Committee
ノ一名タリシモノニテ議會内ニ相当勢力ヲ有シ此等運動ニ
ハ適任ナレバ之ニ依頼サレテハ如何其方法ハ右 Scott ヲ該
法案ガ議事ニ付セラルル以前ノ法律委員會ニ出席セシメ該
案反對意見ヲ述ベシメ旁ラ該案提出者及關係委員等ヲ歴訪
シテ之ヲ説服セシメントスルモノナリト云フ右ハ既ニ商業
會議所側運動ノ關係モアルニ付同會議所書記長 Dodson ト
談合シタル処商業會議所ノ運動ノ外右 Scott ガ個人トシテ
右ノ如キ方法ヲ執ルモ妨ゲナカルベシトノコトニ付 Scott
ノ運動ガ幾何ノ効果アルベキヤハ疑ハシキモ此際申出人
Banks ノ感情ヲ害スルハ策ノ得タルモノニ非ザルベキヲ以
テ是亦日本人會ノ名義ニテ尽力方ヲ依頼スルコトトセリ右
運動ニ對スル費用ハ謝礼トシテ三百弗ヲ請求シ来レルガ右
ハ日本人會基金中ヨリ支出スルコトニ決定セリ

尚本案ハ四五日中ニ法律委員ニ附託セラルル管ナリ

右及報告候 敬具

本信写送付先 在米大使

二七 一月二十八日

在ポートランド木村領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

オレゴン州議會ニ提案ノ外国入土地所有法案

ニ反對スル「オレゴニアン」紙ノ社説報告ノ件

第四号

(二月二十九日接受)

目下州議會ニ提出中ナル外国入土地所有案ニ関シ一月二十
八日発行「オレゴニアン」ハ其社説ニ於テ同案ハ一方ニ於
テ米國出生ナラザル日本人及支那人ノ土地永久所有ヲ禁止
スルモノニシテ時局柄此等諸國ト協力ヲ要スル今日斯ノ如
キ土地問題等ヲ惹起スルハ頗ル愚策ナルノミナラズ該法案
ハ明ラカニ州憲法違反ナルガ故ニ仮令議會ヲ通過スルコト
アルモ法律上当然無効タルベキモノナリ思フニ州議會ハ斯
ノ如キ明ラカニ違憲的ナル法律ヲ制定セザルベキモ斯ノ如
キ議案ヲ真面目ニ議事ニ附スルダケニテモ其結果ハ必ズ煩
瑣且不必要ナル外交上ノ紛糾ヲ齎スベキハ疑フベカラス何
トナレバ右ハ目下親善關係ニアル國民ニ故意ノ侮辱ヲ与フ
ルモノニシテ彼等モ亦爾ク解釈スルハ当然ナレバナリト論
ジ居レリ

在米大使へ電報セリ

二八 一月三十一日

内田外務大臣ヨリ
在ポートランド木村領事館事務代理宛
(電報)

一一 米國各州ノ排日問題雜件 二八 二九

オレゴン州外国人土地所有禁止法案ガ州憲法 違反ナリトノ所論ニ関シ其ノ根拠等取調方訓 令ノ件

第三号

貴電第四号ニ関シ土地法案カ明カニ州憲法違反ナリトスル
「オレゴニアン」所論ハ恐ラク同案ガ州憲法第一章第三十
一条ニ抵触スルコトヲ指スモノナラント察セラルル処右以
外ニモ抵触スル所アリヤ若シ右第三十一条ノミトセハ同案
成立ノ上ハ法律全部カ無効トナルニ非ズシテ白人ニハ適用
ナキモ日本人等ニハ適用セラルルコトトナルニアラズヤト
モ思ハル就テハ此点充分御調査ノ上其結果並ニ同案通過ノ
見込ノ有無及州議會ノ閉會期御電報アレ

二九 二月一日

在ポートランド木村領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

オレゴン州外国人土地所有禁止法案ガ州憲法 違反ナリトノ所論ノ根拠等取調ノ結果報告ノ 件

第五号

(二月三日接受)

貴電第三号ニ関シ

「オレゴンアン」社説ハ州憲法第一章第三十一条ヲ指シタルモノニシテ右ノ外憲法中ニハ抵触スル事項ナシ「オレゴン」州法典編纂委員ニシテ当地知名ノ弁護士 Richard Z. M. Montague ノ意見ニ依レハ本案成立ノ場合白種外人ハ右第三十一条ノ規定ニ依リ本法ノ適用ヲ免カレ白人以外ノ外国人ノミ本法ヲ適用サルコトナリ法律全部カ無効トナルコトナカルヘシ但シ白種外人ヨリ右憲法ノ規定ニ基キ違憲訴訟ヲ提起スル場合ハ別問題ナルモ斯ノ如キ場合ニモ法律全部カ無効トナルヘキヤ否ヤハ該法律中違憲ノ部分カ法律全部ヨリ分離可能ナルト否トニ依リ定マルトコトナリ本案ハ二月四日法律委員會 Judicial Committee ノ審議ニ附セラルル答ナルガ昨日 Salton ヨリ歸リタル「ドゥッソン」ノ報告ニ依レハ同委員七名中四名ハ本案ニ反対ノ意見ヲ表セリトコトナレハ目下ノ形勢ニテハ或ハ法律委員會ノ手ニ握リ潰スコト出来得ヘキ様思ハル議會閉会期ハ二月二十二日ナリ尚前電申進シタル商業會議所運動ニ付テハ同地日本人会ノ名義ニテ弁護士 Scott (一昨年ノ下院議員ニシテ現議員中ニ相当勢力アリ) ニ依頼シ右法律委員會ニ出席シ同案反対意見ヲ述ヘ其他商業會議所側ト連絡ヲ

外務大臣子爵 内田 康哉殿

オレゴン州議會下院ニ外国人土地所有法案提出セラレタル趣及之ニ対シテ当方ノ執リタル処置ニ関シテハ客月二十四日附機密公第二号拙信及本月一日附拙電第五号ヲ以テ申進置候通ニ有之其後該案ハ予定ノ通り本月四日法律委員會ニ附托討議セラレタルガ同委員會ニハ当方弁護士 Scott モ「オレゴン」州日本人農業組合代表者トシテ出席シ同案ニ反対ノ意見ヲ述べ結局委員會ハ本案握リ潰シヲ決議シ(二月五日拙電第七号参照) 七日形式上下院議事ニ附セラレタルモ三對四十五ノ多数ニテ本案ハ無期延期トナリ一先落着シタル次第ニ有之候別紙弁護士 Scott ノ報告書為御参考及御送附候尚本案ハ幸ニ本年度議會ニ於テハ其通過ヲ防止スルヲ得タルモ右ハ未ダ戰時気分ノ横溢セル今日ナルニ付昨日マデ共同ノ敵ニ対シ戰ヒタル同盟側國民ノ権利ヲ奪フハ不穩ナリトスル輿論高ク即チ時機ノ我ニ有利ナリシコト本案ノ否決ニ与ッテ力アリタルハ疑フベカラズ右ハ本案否決ノ形式ガ「無期延期」トナリ居ルニ徴シテモ明カナル所ニシテ殊ニ前記委員會席上委員ハ本案不賛成ノ理由トシテ右ハ目下其時機ニ非ザルノミナラズ事実上当州内ニ於ケル外

取り適當ノ運動ヲ為サシムルコトシ右費用三百弗ハ日本人会ヨリ支出スルコトセリ

三〇 二月五日 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オレゴン州外国人土地所有禁止法案下院委員會ニテ握潰シニ決定ノ件

第七号 (二月六日接受)

往電第五号ニ関シ

爾来当方ノ運動其ノ効ヲ奏シ土地法案ハ二月四日夜当州下院委員會ニ於テ握リ潰シニ決定シタル旨内報アリタリ
大使済ミ

三一 二月十日 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛

オレゴン州外国人土地所有禁止法案握潰シトナリタル件

機密第三号 (三月二十四日接受)

大正八年二月十日

在ポートランド
領事 杉 村 恒 造(印)

國人所有地ノ面積ハ洪大ナル当州ノ地積ニ比シ何等当州ニ對スル威嚇トナル程大ナルモノニ非ズ州議會ハ毎二年目ニ開催サルルモノナレバ他日は等外国人所有土地問題ガ州ノ考量ヲ要スベキ危機ニ達シタル時ニ於テ始メテ本案ヲ制定スルモ遅カラザルニ非ズヤ云々ト述ベタル由ニテ從テ此種ノ議案ガ今後ノ議會ニ於テ何等カノ形式ノ下ニ再現スベキハ想像ニ難カラザル儀ニ有之候
右及報告候 敬具

本信写送附先 在米大使

註 別紙ヲ省略ス

三二 二月十八日 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

アイダホ州議會下院ガ学校ニ於テ外国語ニ依ル教授制限法案可決ノ件

第一〇号 (二月二十日接受)

往電第八号所報学校外国語教授制限法ト同様ノ法案二月十五日「アイダホ」州議會下院ヲ通過セリ但シ同地方ニハ日

本人國語学校ノ設立ナシ

大使ヘ済

註 杉村領事ノ外務大臣宛電報第八号記録中ニ見当ラザルガ其内容ニ付テハ次掲ノ杉村領事發機密公第五号参照

三三 二月二十三日 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛

オレゴン州議會ノ制定シタル学校ニ於テ外国語ニ依ル教授制限法ニ関スル件

機密公第五号 (四月一日接受)

大正八年二月二十三日

在ポートランド

領事 杉村恒造(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

客月十六日当州議會下院ニ当州内公私立学校ニ於テ外国語以外ノ科目ヲ英語以外ノ國語ニテ教授スベカラズトノ法案提出セラレ其後同案ハ兩院ヲ通過シ八日知事ノ署名ヲ經タル趣及該案提出ノ動機等ニ関シテハ本月十二日附往電第八号ヲ以テ及報告置候通ニ有之茲ニ該法律案及送付候間御査閱相成度候右ニ関シ現在当地在留日本人設立ノ國語学校ニ對スル本法実施ノ影響ヲ按ズルニ現下当地方ニハ「ポートランド」市内及市外「モンタビラ」ニ各一ノ國語学校有之

本信写送付先 在米大使

註 添付ノ法律案記録ニ存セズ

三四 二月二十八日 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛

オレゴン州議會通過ノ漁業法修正案ニ関スル件

機密公第五号 (四月一日接受)

大正八年二月二十八日

在ポートランド

領事 杉村恒造(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

本月十五日当州議會ニ別紙甲号写ノ通り現行漁業法修正案提出セラレタルカ同案ハ遂ニ上下兩院ヲ通過スルニ至レリ而シテ該案カ主タル目的トスル「コロンビア」河流域鮭魚ガ「ワシントン」及「オレゴン」兩州ノ共同管轄ニ属スル關係上同案ハ兩州議會委員等会合協議ノ結果兩州議會ニ殆ト同時ニ類似ノ議案ヲ提出シタルモノニ係リ其要點ハ「コロンビア」河其他ノ河海ニ於ケル鮭其他ノ魚介類捕獲ニ關スル現行漁業法(別紙乙号写参照)中ニ外国人ハ市民トナ

前者ハ現在生徒二十名外ニ幼稚園兒童數二十五名計四十五名ノ在學者アリ後者ハ生徒數十八名幼稚園兒童二十名合計三十八名ノ在學者ヲ有シ孰レモ單ニ日本語ノ補助機關トシテ設立サレタルモノナレトモ從來ハ算術、地理、歴史、圖画ノ如キ課目ヲモ附屬的ニ教授シ居レルガ今後一切是等名目ヲ科目中ヨリ削除シテ州法ニ合致スル様ノ組織ニ變更シ即チ日本語名目ノ下ニ読方、訳解、作文、會話、習字等ヲ教授スルコトトセバ是等國語學校元來ノ目的ハ充分貫徹サルノミナラズ是等國語學校生徒ノ大多數ハ米國公立學校ニ通學シ其放課後日本人國語學校ニ來ルモノニテ從來兩者ノ間教授法ノ相違其他ノ為兒童ハ往々同一問題ニ付其取捨ニ迷フ等ノコト尠カラザリシモ本法勵行ノ曉ニハ是等ノ弊ヲモ除去スルコトヲ得申候ニ付今回ノ法律ハ日本語ノ教授上ニ於テハ何等支障無之隨テ日本人側ヨリ別ニ故障ヲ挾ムヘキ余地ナキ様被認候

尚前記兩國語學校責任者ニ對シテハ其教授方法ヲ今回制定ノ法律ニ適應スル様改善ヲ加フヘキ旨注意シタル結果兩校トモ既ニ其様処置致居候
右及報告候 敬具

ル意志ヲ表示シタルモノニアラサレハ漁業鑑札ヲ受クルヲ得ストアル規定ヲ削除シ即チ米國市民ノミニ漁業ヲ許可セントスルモノニテ右議案提出ノ動機ナリト云フヲ聞クニ近來「コロンビア」河鮭ノ漁獲高ハ年々減退セルヨリ何等カノ制限ヲ設クル必要ヲ認メ居レル際同地方漁業者ノ大部分ハ澳國人「フキンランド」人等ノ外國人ニ属シ殊ニ右「フキンランド」人ノ如キハ過般米國參戰ノ結果徵兵法實施ニ當リ已ニ獲得シ居リタル第一帰化權証ヲ還付シテ市民トナルノ權利ヲ放棄シ之カ為メ徵兵ノ免除ヲ受ケ依然漁業ニ從事シ居リタル事實アリ一方米國人壯丁ハ戰線ニ立チテ死生ノ巷ニ出入シツアル際等徵兵忌避外國人及敵國人等ハ平然漁業ニ從事シテ巨利ヲ博シツアル狀態ニテ此点ヨリ謂フモ同地方漁業ヲ全然米國市民ノミニ限ルノ緊急ナルヲ認ムト云フニアルモノノ如シ而シテ新法ノ本邦人ニ對スル影響如何ハ從來ト雖モ前頭漁業法上米國市民ノ外市民トナルノ意志ヲ表示シタル外國人ニノミ漁業ヲ許可サレ居リ隨テ日本人ハ当州ノ関スル限り之ニ從事スルヲ得サリシ規定ナルヲ以テ這回ノ如キ修正アリトスルモ何等影響ヲ見サル次第ニ有之候尤モ當州ノ法制ニテハ遊獵ヲ目的トスル

Game and Fish ニ關シテハ別種ノ法律ヲ以テ規定サレ居リ(別紙丙号写参照) 本件漁業法トハ何等關係ナク從テ遊獵鑑札ハ從來ノ通り外國人ト雖モ相当料金ヲ納付シテ下付ヲ受ケ得ル次第ニ有之候

右及報告候 敬具

本信写送付先 在米大使及在シアトル領事

註 附屬書ヲ省略ス

三五 三月一日 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二月二十七日閉会ノオレゴン州議會ガ会期中
取扱ヒタル日本人ニ關係アル法案ニ付報告ノ

件

第一四号 (三月三日接受)

オレゴン州議會ハ議事未了ノ法案堆積ノ為メ定期ヨリ五日
間遲レ二十七日閉会セリ会期中現ハレタル本邦人關係法案
左ノ通

(一)土地法案委員會ニ於テ握リ潰シトナリ不成立トナル
(二)外國語教授制限法案往電第八号ノ通り但シ國語學校ヲシ
テ新法ニ適合セシムル様科目上多少改善ヲ加ヘシメタリ

國人ノ所有權ヲ法律ニテ規定シ得ル様仕組マンガ為メ憲法
改正案同州州會ニ提出セラレ既ニ下院ヲ通過ノ上上院委員
會ニ附託セラレ本月六日頃同委員會ニ附託セラレ本月六日
頃同委員會ニ於テ審議セラルル趣同州日本人會ヨリ當館ヘ
電報アリ電文簡ニシテ詳細ヲ知り得ザルモ提出ノ目的ハ今
後法律ヲ以テ外國人ノ土地所有權ヲ制限スル余地ヲ作ルニ
アルモノノ如シ尤モ右憲法改正案ハ議會通過ノ曉ニ於テモ
二年ノ後次ノ一般選舉ニ於テ有權人民ノ投票ニテ可決セラ
レタル上ナラデハ効力ヲ發セズ從ツテ今直チニ本邦人ノ權
利ニハ影響ナカルベキモ將來ニ危險ヲ醸スモノナルニ付
來得ベクシバ中央ニ於テ右改正案通過防止方御配慮ヲ請フ
改正案ハ「コロラド」日本人會ヨリ直接貴官ニ送附スル様
申遣シ置ケリ

三七 三月十二日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外人ノ財産所有權ニ關スルコロラド州憲法
改正案ハ日本人排斥ヲ目的トストノ情報報告
ノ件

第三六号

一一 米國各州ノ排日問題雜件 三七 三八

(三)東洋人經營ノ料理店等ニ於テ白婦人雇傭禁止法案提出ヲ
見タルモ幸ニ成立シ至ラズ

(四)漁業法修正法案兩院ヲ通過シタリ右ハ從來ノ法律ニハ外
國人タリトモ市民トナルノ意志ヲ表示シタル者ニハ漁獵
鑑札ヲ下附スルノ規定アリシヲ今回ノ法案ニテ之ヲ削除
シタルカ本邦人ハ當州ノ關スル限り從來ノ關係上何等影
響ヲ見ズ但シ遊獵ヲ目的トスル釣魚ニ關シテハ之迄通り
行フベシ

大使ヘ転電セリ

三六 三月二日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

法律ニ依リ外國人ノ財産所有權ヲ規制シ得ル
為ノ憲法改正案コロラド州議會ニ提出セラレ
タル件

第二九号 (三月九日接受)

在米大使ヘ左ノ通

第二〇号

コロラド州憲法ニ同州ニ居住シ又ハ將來居住スベキ外國人
ハ不動産不動産ヲ所有シ及ビ処分シ得ル旨ノ規定アル処右外

本官発在米大使宛電報貴大臣御參考迄ニ転電ス
コロラド州憲法改正提案ノ目的及ビ動機ニ關シテハ詳細取
調報告方同地日本人會ヘ申遣ハシ有ルモ未着ナル処三月十
二日在米日本人會ニ達シタル報告ニ依レバ提案者下院議員
「ベシヨウアー」ハ委員會ニ於テ日本人ヲ非難シ憲法修正
ノ目的ハ日本人排斥ニ在ルコトヲ明言シ居ル趣及ビ提案ノ
動機ハ同州「スウィング」及ビ「ロッキーフォード」地方
ニ於ケル日本人ノ發展(主トシテ「メロン」ノ耕作) 近来
目覺マシキモノ有リ佳良ナル土地ハ多クハ邦人ノ借地又ハ
所有スル所ト成リ同地方ニ於ケル白人ヲシテ転業又ハ転住
ヲ為サシムルニ至レル点ニ在ルモノノ如ク見受ケラレ同日
發行ノ当地邦字新聞ニモ略々同様ノ「デンバー」通信掲載
セラレ有リ尚右日本人會ノ報告ニハ修正案ガ上院委員會ノ
議ニ上ルハ三月十二、三日ナラント暗ニ前電報ニ見エタル
事實ヲ訂正シ居レリ不取敢電報ス大臣ヘ電報セリ

三八 三月十三日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

外人ノ財産所有權ニ關スルコロラド州憲法改
正案ノ目的ニ付報告ノ件

附屬書 同日太田總領事發在米大使宛機密華第四号写

機密公第七号

大正八年三月十三日

在桑港

總領事 太田 為吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

一、本官發在米大使宛機密華第四号公信写送付ノ件

(附屬書)

機密華第四号写

大正八年三月十三日

在桑港

總領事 太田 為吉

在米特命全權大使子爵 石井菊次郎殿

コロラド州憲法改正提案ニ関スル件

本件ニ関シ「コロラド」山東日本人会ヨリ当地在米日本人会ニ到達シタル報告ノ大様ハ拙電第二六号ヲ以テ及報告シ置候処右報告書写為御参考供貴覽候 敬具

本信写送付先内田外務大臣

(別紙)

写

大正八年三月八日

山東日本人会

在米日本人会御中

当州土地問題ニ就テハ種々御配慮ヲ煩ワシ御札申上候
当州ノ憲法ヲ修正シテ後、外人ノ土地所有ヲ州会ニ於テ禁止セントスルハ明ニ日本人ヲ目的トセルモノニシテ同案ヲ提出セル下院議員「ペシアー」ハ下院憲法修正委員会ニ於テ日本人ヲ非難シ修正目的ノ日本人ニアル事ヲ明言致シ居リ候尤モ此案ガ通過シテ後、如何ナル程度ニ於テ彼等ガ日本人土地所有問題ヲ決セントスルカハ不明ニ御坐候ヘ共恐ラク加州同様或ハヨリ以上ノモノナルヤモ知レズト想像セラレ候

同案提出ノ動機ハ当州スウィンク及ロッキーフォード地方ニ於ケル同胞ノ發展ガ近來目覺シク善良ナル土地ガ邦人ノ「リース」或ハ所有スル所トナリ、同地方ニ於ケル白人ヲシテ転業或ハ移住スルノ止ムナキニ至リタル結果、多大ノ恐慌ヲ来シタルハ事実ニ御坐候、現ニ昨夏一邦人牧師ガ同地方ニ至レル時同地方ノ白人牧師ガ同地方ノ現状ヲ述ベ日

第五二号

コロラド州憲法改正案提出ノ差シ当リテノ目的ハ現行憲法ニ規定セラレタル外国人財産所有權ニ関スル事項ヲ今後ハ法律ヲ以テ改廢シ得ル様立法手續ノ簡易ヲ計ラントスルニ在ルモノノ如ク從テ右ニ對シ直ニ中央政府ニ向ヒテ之ガ通過ヲ防止方ニ付申入ヲ為スニ於テハ未ダ十分ノ根拠ナキヤニ存ゼラルル処本件改正案提出ノ動機理由如何若シ将来法律ヲ以テ制限セントスルノ魂胆アルモノトスレバ何等排日差別待遇ヲ設ケントスル趣旨ヲ有スル次第ナルヤ其辺ノ事情御調査ノ上報告アリタシ(七日午後發)

四〇 三月十九日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

コロラド州憲法改正提案ノ目的及動機ニ関スル件

附屬書

同日太田總領事發石井大使宛機密華第六号写
機密第九号 (四月十二日接受)

大正八年三月十九日

在桑港

附屬書 同日太田總領事發在米大使宛機密華第四号写

機密公第七号

大正八年三月十三日

在桑港

總領事 太田 為吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

一、本官發在米大使宛機密華第四号公信写送付ノ件

(附屬書)

機密華第四号写

大正八年三月十三日

在桑港

總領事 太田 為吉

在米特命全權大使子爵 石井菊次郎殿

コロラド州憲法改正提案ニ関スル件

本件ニ関シ「コロラド」山東日本人会ヨリ当地在米日本人会ニ到達シタル報告ノ大様ハ拙電第二六号ヲ以テ及報告シ置候処右報告書写為御参考供貴覽候 敬具

本信写送付先内田外務大臣

(別紙)

本人ノ侵入シテ以来、同教會員ニシテ他ニ移住或ハ転業スルモノ多ク教会ノ維持、漸ク困難ニナリツ、アリト愁訴シタル事モアリタリト言フ程ニ御坐候当会ニ於テモ出来得ル限リ同案通過防止運動ニ力ヲ致シ居候、上院委員會ニ上ルハ十二、三日ト觀測致サレ候尤モ当州ハ全般ニ亘リテ決シテ同胞ガ白人社会ニ氣受ケ惡シキ方ニハ無之候ヘバ将来同胞ガ今回ノ事ニ鑑ミ適當ノ策ヲ講シ平常ヨリ警戒スルニ於テハ将来ハ強チ悲觀スルヲ要セザル事ト存ゼラレ候本会ハ五千弗ノ予算ニテ運動致シ居候ガ貴会ヨリモ補助ヲ仰ギ度、参事会ニ於テ一千弗ノ援助費ヲ貴会ヨリ乞フ事ニ決シ申シ候次第何卒御審議ノ上、右様御取り運ビ相成リ度願上候

三九 三月十四日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外人ノ財産所有權ニ関スルコロラド州憲法改正案提出ノ動機、排日差別待遇ノ意圖ノ有無調査方在米大使ヨリ訓令越ノ件

第四〇号

在米大使ヨリ左ノ通

一一 米國各州ノ排日問題雜件 三九 四〇

總領事 太田 為吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

一、在米石井大使宛機密華第六号公信写送付ノ件

(附屬書)

機密華第六号写

大正八年三月十九日

在桑港

總領事 太田 為吉

在米

特命全權大使子爵 石井菊次郎殿

コロラド州憲法改正提案ノ目的及動機ニ関スル件

本件ニ関シ詳細取調報告方「コロラド」州日本人会へ申遣シ置キタル次第ハ拙電第二六号ヲ以テ及報告置キ尚同地日本人会ヨリ当地在米日本人会ニ到着シタル報告書写ハ本月十三日機密第四号拙信ヲ以テ貴覽ニ供シ候処最近同日本人会ヨリ当館ニ対シ別紙ノ通り報告有之候ニ付重複ノ嫌有之候へ共御參考迄及御送付候 敬具

本信写送付先内田大臣

(別紙)

写

大正八年三月十四日

コロラド州日本人会

在桑港總領事館御中

謹啓コロラド州土地問題ニ就テ概略左記ノ如ク御報告申上候也

記

コロラド州憲法第二条第二十七条ニ規定セル外国人ニシテ現在及ビ将来善良ナル居住者タルベキ者ハ米國ニ出生シタル市民同様動産及不動産ヲ所有、相続及ビ売り渡ス事等ヲ得トノ条項ヲ修正シ之等外国人財産所有權ニ関スル事項ヲ州会ノ手ニ委シ法律ヲ以テ改廃スル事ヲ得、トノ憲法修正案ヲ一月十四日第二十二回コロラド州会下院ニ提出シタルハ下院議員エム、イ、ベシヨウアー(共和党オードウエー出身)及ビ「フランク、エ、ドーラン(民主党ボルダー出身)ノ兩名ニシテ同案ハ表面上未ダ何等日本人ニ言及セザルモ同案提出者ベシヨウアー氏ノ下院憲法修正委員會ニ於テ明言シタル所ニ依レバ同修正案ハ明ニ日本人ヲ目的トシ

タルモノニシテ近時「ラハンタ」、「スウィンク」、及ビ「ロッキーフォード」地方ニ於ケル日本人ノ發展ハ目醒マシキモノアリ漸次米人農家ヲ駆逐シ同地方最善ノ土地ヲ蚕食シツ、アリ今ニシテ何等カノ方法ヲ講ズルニ非ザレバ同地方ノ米人ハ日本人ヨリ不斷ノ威嚇ヲ蒙リツ、アリト言フヲ妨ゲズ云々

斯クテ同案ハ下院憲法修正委員會ヲ滿場一致ヲ以テ通過シ下院ニ於テ可決セラレタル次第ナリ

籲テ同地方ニ於ケル一般民衆ノ日本人ニ対スル行動ヲ觀ルニ對個人關係トシテハ特別惡シキ方ニハ非ザルモ一般米人社会ヲ通ジテ一種ノ不安ト恐怖ノ念ヲ抱カシメツ、アルハ事實ナルモノ、如ク昨年末「ラハンタ」地方商業會議所ハ日本入土地問題ヲ研究シ同地方撰出議員ヲシテ土地法案ヲ州会ニ提出セシムベク交渉運動シ本年二月二十九日「ラハンタ」ニ開催セラレタル「ラハンタ」産業協會ニハ百余名ノ出席者アリ席上日本入土地問題出デ委員ヲ任命シテ同問題ヲ研究セシムル事トナリタリ

之等米人ノ団体の運動ヲ外ニシテ「スウィンク」地方ノ一米人牧師ガ昨夏、日本人ガ同地方ニ發展シ来リタル結果多

数米人農家ノ転業者及ビ他ニ移住者多ク出デ教会ノ維持ニモ困難ヲ感ズト嘆声ヲ發シタルヤニ伝ヘラレタリ之ヲ要スルニ同憲法修正案成立後、如何ナル程度ニ於テ外国人ノ財産所有權ニ制限ヲ加ヘントスルヤハ明カナラザレドモ日本人ニ不利益ナル可キモノナルハ寸毫ノ疑ヲ容レズ

四一 三月二十日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外国人ノ財産所有權ニ関スルコロラド州憲法
改正案ハ州議会上院委員會ニ於テ握潰サレン
トノ情報報告ノ件

第四一号

桑港發華盛頓宛電報

三月十三日ノ当地日米新聞ニ「デンバー」通信トシテ「コロラド」州憲法改正案ハ上院委員會ニ於テ握潰サレタリトノ記事アリタルニ付真相ヲ確メ報告方同地日本人会へ申遣ハシタル処本二十日同会ヨリ到着シタル報告ニ依レハ該案ハ未タ全然握潰サレタルニハアラサルモ同地方邦人備弁護士及握潰シ運動ヲ依頼シタル某政客ノ意見ニ依レハ今後局

面ノ突発的变化サヘナクハ先以テ握潰サル、事トナルヘシトノコトニテ同日本人会ニ於テ同様觀察シ居ル趣ナリ右不取敢報告ス
大臣ヘ電報セリ

四二 三月二十一日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外国人ノ財産所有權ニ関スルコロラド州憲法
改正案形勢ニ関スル件

附屬書 同日太田總領事發在米大使宛機密華第七号写
機密公第一〇号 (四月十七日接受)

大正八年三月二十一日

在桑港

總領事 太田 為 吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

一、在米大使宛機密華第七号公信写送付ノ件

(附屬書)

機密華第七号写

大正八年三月二十日

在桑港

總領事 太田 為 吉
在米

特命全權大使子爵 石井菊次郎殿

コロラド州憲法改正案ノ形勢ニ関シ報告ノ件

コロラド州憲法改正案カ上院委員会ニ於テ握リ潰サレタリトノ当地日米新聞記事ニ関シ真相取調報告方「コロラド」州日本人会ヘ申遣シ同日本人会ヨリ回報アリタル次第ハ拙電第三二号ヲ以テ不取敢及報告置候処御参考ノ為メ右日本人会報告書写供貴覽候 敬具

本信写送付先内田外務大臣

(別紙)

写

大正八年三月十六日

コロラド州山東日本人会

在桑港

總領事館御中

コロラド州土地法案ニ対スル上院委員会ノ態度ハ先ツ握リ潰シニ傾キ居リ候ヘ共未ダ全然握リ潰サレタリト言フニハ非ザル次第ニテ当方ニテ雇居ル弁護士「マクリリ」氏ノ説

公第一二四号

(四月二十九日接受)

大正八年三月三十一日

在桑港總領事 太田 為 吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

過般来写真結婚婦人入国問題或ハ墨国ヨリ潜入セル本邦移民問題等ヲ提ケ盛ニ日本人問題ヲ喚起シ加州人ノ注意ヲ惹起スルニ努力セル米國上院議員「フィラーン」ハ更ニ「コロラド」州ニ於ケル排日土地法案ノ前提タル同州憲法改正案ニ関シ同地日本人会ノ為シタル防止運動ニ関スル本月十二日及十三日發行日米新聞ノ記事ヲ悉皆反訳シ日本人会ガ如何ニ州立法ノ防止運動ニ努力セルヤヲ説キ此日本人会ナルモノハ日本領事ヨリ財政ノ一部ヲ補助セラレ日本政府ト密接ナル關係ヲ有スルモノナリト云ヒ最後ニ万一日本ニ居住セル米國人ガ日本ノ立法ニ対シ暗中飛躍ヲ試ミナバ如何ナル結果ヲ来スベキヤト反問シ一九一七年米國政府ガ支那政府ニ南北和平ヲ勧告シタル際日本ノ諸新聞紙ハ余計ナ干渉ナリト批評シタルモ今ハ之ニ反シ米國ニ居住セル日本人ガ一致團結シ政府ノ後援ヲ得テ立法權ニ迄其勢力ヲ及ボサントセリト述べ居候其詳細ハ別紙三月三十一日發行桑港

ニ依レバ十中八九ハ髓ニ上院委員会ニ於テ握リ潰サル可キモ唯今後恐ルベキハ局面ノ突発的变化ニ有之、之ハ充分ニ注意シテ觀察スルヲ要スト申シ居リ候一方運動ヲ依頼シ居ル某政治家ノ意見モ同様ニシテ上院委員会ニ於テ握リ潰サル可キハ確實ナリトノ保証ヲ与ヘ居ルガ如キ次第ニ有之候「コロラド」州会ハ三月二十九日頃ヲ以テ閉会致シ申ス可ク上院委員会ノ形勢ヲ觀ルニ土地法案以上重要ナル問題が輻輳シ居リ未ダ進行ヲ見ザル状態ニアレバ吾人ノ見解ヲ以テスルモ委員会ニ於テ握リ潰サル可キヲ確信致シ居リ候吾人ノ雇ヒ代言人ハ英、仏、伊等ノ領事団ヲモ動カシ呉レ之等ノ抗議ハ当会ノ内密運動ト相待チテ多大ノ効果アリシヲ信ジ居リ候

右様ノ次第ニ付多ク憂フルノ要無之キ乎ト存ゼラレ候

敬具

四三 三月三十一日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

外国人ノ財産所有權ニ関スルコロラド州憲法
改正ヲ防止セントスル運動ヲ非難セル米國上
院議員フィラーンノ声明ニ付報告ノ件

一一 米國各州ノ排日問題雜件 四三

「エキザミナー」紙切抜ニテ御閱覽相成度為御參考三月十二日及十三日發行日米新聞記事添付致置候 敬具

本信写送付先在米石井大使

註 附屬書類ヲ省略ス

四四 五月十二日 内田外務大臣ヨリ
在桑港太田總領事宛

排日ヲ目的トセルコロラド州ノ憲法改正案ニ
関シ同州ニ於ケル排日ノ根底排日論者ノ素性
憲法改正案ノ動機等查報方訓令ノ件

通機密送第五号

先般「コロラド」州議會ニ於テ排日ヲ目的トスル憲法改正案ノ提出セラレタル次第及其動機等ニ関シテハ屢次電報及公信ヲ以テ御報告相成一応判明致候へ共此際篤ト其事情ヲ極メ置度候間「コロラド」州ニ於ケル排日ノ根底之ニ關係セル白人ノ素性、他州ノ排日論者ト如何ナル脈絡アリヤ及今回憲法改正案提出ノ動機竝同地方ニ於ケル本邦人ノ情况等御精査ノ上御報告相成度此段申進候也

四五 九月二十三日 在ボートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四六 十月七日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州十四郡地主會長ノ上院議員宛ノ排日運動
及加州労働組合連合会ノ排日決議案報告ノ件

第一五三号

往電第一四九号末段ニ関シ十月六日加州十四郡地主會ハ會長「バーナード」ノ名ヲ以テ上院議員「ジョンソン」及「フイーラン」ニ対シ加州ノ日本人ハ益々新ナル土地ヲ侵蝕シツ、アリテ問題ハ愈緊切ナリ吾人ハ子孫ニ加州ヲ保全セシカ為十四郡協會ハ「サクラメント、サンホーキン」平原ヲ代表シ議會ニ於ケル貴下ノ尽力ヲ切望ス云々ノ電報ヲ送り又 California State Federation of Labor ハ目下当州「バーカーフィールド」ニ於テ會議開催中ニシテ州内各種同業組合ノ代表者之ニ出席シ居ル処同會議ニ提出サルヘキ決議案中前頭拙電冒頭記載ノ各項ト同様ナル諸事項ノ外日本人ノ借地権剝奪ヲ目的トスル排日決議案アリ右通過ノ上ハ加州上下両院議員ニ送致セラルヘキ筈ナルカ代表者一般ノ人氣ヨリ察スレハ大多數ヲ以テ通過スヘシト諸新聞ハ伝ヘ居レリ尚右排日決議文ハ目下華府ニ滞在中ナル「シャーレンブルグ」が提議セルモノナリト伝ヘ居ル新聞アリ

一一 米國各州ノ排日問題雜件 四六 四七 四八

オレゴン州ニ於ケル排日団体ノ日本人ヘノ土地売却又ハ貸与禁止運動報告ノ件

第五五号 (九月二十四日接受)

当州 Hood River ニ於ケル一部白人ハ九月始突然一ノ排日団体ヲ組織シ今後日本人ニ土地ヲ売却又ハ賃貸セザル旨ノ申出ヲナスニ至レリ右ハ近來該地方邦人農業者ノ急激ニ發展シ殊ニ最近邦人中同地目抜ノ場所ニ一大果樹園ヲ購入セルモノ有リタルガ為起リタル反響ナランモ裏面ハ前排日議員 Wilbur 等ニ依リ政治的野心ヲ以テ該地方ニ於ケル邦人發展ヲ潔シトセザル白人農業者ノ一部ト結び此舉ニ出デタルモノノ如ク右団体ニ加ハリタル者ノ中ニモ昨今此種排日ノ謂ナキヲ主張スル温和派表レ同団体ノ排日氣勢漸次緩慢ナラントスルノ感有リ唯 Wilbur 等ノ画策ニ依リ或ハ本件ガ意外ニ伸展シ來期ノ州議等ニ外人土地禁止法案等ノ再燃無キヲ保シ難ク本官ニ於テモ慎重本件ノ推移ヲ監視シ該地方關係邦人側ト表裏相応ジ適宜ノ措置ヲ執リツツ有リ

在米大使ヘ郵報セリ

在米大使ヘ転電セリ

四七 十月十日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州労働組合連合会及米國在郷軍人会ノ排日
決議ニ付報告ノ件

第一五九号

往電第一五三号ニ関シ「バーカーフィールド」ノ労働者會議ハ愈々排日決議案ヲ可決シ又兩三日來当地ニ開會シ居ル American Legion モ十月九日同種ノ決議ヲ為セリ
在米大使ヘ転電セリ

四八 十月十一日 内田外務大臣ヨリ
在桑港太田總領事宛(電報)

加州十四郡地主會ニ関シ調査報告方訓令ノ件

第六七号

貴電第一四九号ニ関シ加州十四郡地主會ハ何人カ如何ナル目的ヲ以テ組織シ何程ノ勢力乃至実行力ヲ有スルモノナリヤ並會員ノ数其ノ範圍結束ノ強弱及會ノ存立期間等詳細御取調ノ上回電アリタシ

四九 十月十四日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州十四郡地主会ニ関シ調査報告ノ件

第一六二号

貴電第六七号ニ関シ地主会議表面ノ目的ハ水利灌溉ノ開通及帰還軍人ノ為土地所有ノ便ヲ計ルニアルモ之ガ為東洋人特ニ日本人ヲ排斥スル必要アリトシ其 Standing ヲ標榜スルニ California for Americans ナル語ヲ以テシ九月中「サクラメント」ニ開催セラレタル State Fair ニ於テモ場内ニ右ノ大看板ヲ掲ゲテ排日ヲ鼓吹シ又目下当地ニ開催中ノ Land Show ニ於テモ類似ノ運動ヲ試ミツ、アル次第ニシテ所謂十四箇郡ハ「サクラメント」及「サンボーキン」兩平原即チ日本人發展ノ地方全部ヲ含ム而シテ会長ガ Bernard ナル土地業者ナルヨリ察セバ当初ハ營利ノ動機ニ出デタルモノナルヤモ計リ難キモ之ニ「インマン」、「シャキー」、「パルキット」ノ如キ排日州会上院議員及下院議員州ノ官吏其他各郡代表者等加ハリ排日専門ノ形ヲ備ヘ居ル現況ナルガ一方ニ於テ近來日本人ガ大イニ成功セル米作地方ノ米人ハ一種ノ猜疑及恐怖心ヨリ此運動ヲ助ケ又他地

方ニ於テモ日本人ノ農業上ノ成功ヲ虞ル、者之ニ結び付ク傾向アリ結束ハ相當鞏固ナルモノト見ルベク其存立期間ハ不明ナルモ州会ニ希望通ノ立法ヲナサシメントスルモノナルヲ以テ先ヅ次ノ州会閉会期迄ト見テ可ナラン而シテ本件ニ付テハ本年七月九日附公第二〇八号、八月十二日附公第二三八号及九月二十六日附公第二八七号等ニテ報告シアルニ付其附屬書類トモ御再読ヲ請フ

尚該地主会ノ排日ハ漸次一般ノ排日運動ニ合体シ來タリタル現況ナルガ故ニ写真結婚廢止ノ可否ハ此一一般の排日熱ノ方面ヨリ御觀察ノ上速ニ何分ノ御決定ヲ請フ

五〇 十一月二日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州議會ガ日本人ノ農地取得ヲ阻止スル立法
ノ為ノ臨時州議會召集ヲ知事ニ要請スル決議
ヲ採択ノ件

別電一 同日在桑港太田總領事宛内田外務大臣宛電
報第一七八号別電第一
加州議會ノ右決議
二 同右電報第一七八号別電第二
右決議ニ関スル加州知事ノ声明

第一七八号

十一月一日「サクラメント」ニ召集セラレタル臨時州会ハ午后二時半ニ開会六時四十分ニ閉会シ上院ニ於テ全院一致下院ニ於テ七十三對二ノ多数ニテ直ニ婦人選舉權ニ関スル批准ヲ通過シタルカ「インマン」等ノ排日議員ハ既報ノ排日兩院協同決議運動ヲ開始シ上院ニ於テハ「ケーホー」「ハリス」及「デンネット」三議員之ニ反對シタルモ賛成三十五反對ハ右ノ三名又下院ニ於テハ全院一致ヲ以テ別電第一ノ如キ來年一月五日ニ排日臨時州会ヲ召集セシムル協同決議ヲ通過シ兩院ノ議長ハ該決議ニ基キ直ニ各三名ノ議員(召集ヲ知事ニ迫ル為メ)ヲ指名シタルカ「インマン」ハ同時ニ檢事總長ヲシテ現在排日土地法違反ノ有無ヲ調査セシメ違反者ヲ処罰スルノ決議案ヲモ提出シ上院ハ之ヲ通過セリ尚閉会後知事ハ右協同決議ノ件ニ関シ大要別電第二ノ如キ「ステートメント」ヲ發表シタル処「インマン」等ノ説トシテ新聞ノ伝フル所ニ依レハ當臨時州会後直ニ第二臨時州会ヲ召集スルノ案ハ知事力賛成セサルモ若シ召集期ヲ延ハスニ於テハ賛成スヘキ見込ミ立チタルニ依リ知事派ニ屬スル議員ノ暗示セル所ニ依リ來年一月五日トセルモノナリト「サクラメント」ニ派遣シ置キタル「ガイ」モ知事ハ遂ニ

一月五日ノ召集ヲ余儀ナクセラルベシト報告シ來レリ而シテ知事ノ臨時州会召集反對ノ二理由中(一)中央ニ於ケル國際政局ノ問題ハ米國ノ講和條約批准ニ依リ消滅スヘキモ(二)日本人ニ関スル調査ノ件ハ随分時日ト費用ヲ要スル問題ニシテ該調査ヲ命セラレタル「ボード、ワブ、コントロル」ノ能ク之ヲ仕遂ケ得サルコトヲ自覺セルモノト見エ二週間程以前吏員ヲ本官ニ送り各地日本人会ヲシテ之ヲ調査セシムルコトニ付適當ノ尽力ヲ依頼シ來リタルヲ以テ本官ハ之ヲ承諾シ兩三日前先方ヨリ内示シ來リタル調査事件雛形ノ可否ヲ目下在米日本人会ニ於テ研究セシメ居ル次第ニテ知事ガ此ノ消息ヲ知レルヤ否ヤハ不明ナルモ到底數ヶ月ノ間ニ完成シ得ベキ事業ニ非ザル処(一)ノ理由已ミタル後モ尚(二)ノ理由ニ依リ知事ガ臨時州会召集ヲ拒ミ得ベキヤ疑問ニシテ既ニ今回モ客月三十一日ノ「ステートメント」ニ於テ排日問題ハ臨時州会ニ於テ議スベキモノニ非ザルヲ云ヒ昨一日ノ「ステートメント」ニ於テハ幾分讓歩セル傾アルガ故ニ今後ノ態度ハ決シテ樂觀ヲ許サズ而シテ我ニ於テハ極力臨時州会ノ召集ヲ妨害シ明後年一月ノ通常州会迄ニ出來得ル限りノ排日對抗運動ヲ試ムル外策ナキニ付此ノ点ニ付至急

何分ノ御研究ヲ請フ

尚今回ノ決議中從來排日家ノ主張セル写真結婚ニ関スル事項ヲ除キタルハ注意スベキ点ニシテ傍聴席ハ婦人ヲ以テ充タサレタルニ該問題ノ論議ヲ見ザリシハ不幸中ノ幸ナリキ華府ヨリノ新聞電報ハ「フィーラン」モ在米日本人会ノ写真結婚廃止宣言ヲ喜ビ居ル由ナルガ「インマン」等ハ今日トナリ該問題ヲ州会ニ提議スルハ反ッテ自己等ノ主張ヲ弱ムルモノト観取セルモノ、如シ

在米大使へ電報セリ

在北米各領事ホノルルへ郵送セリ

(別電一) 十一月二日在桑港太田總領事領内田外務大臣宛電報

第一七八号別電第一

加州議會ガ日本人ノ農地取得ヲ阻止スル立法ノ為ノ臨時州議會召集ヲ知事ニ要請スル決議

第一七八号 別電第一

亜細亞人ノ加州農作地領有ノ状態ガ急激ナル進展ヲナシ今ヤ識者ニ依リ州内米人ニ対スル一大障礙ト認メラル、ニ至リタルニ依リ又全州ニ亘レル右警戒ノ声ガ農作地取得ニ対スル亜細亞人ノ努力ヲ倍加シタルコトニ鑑ミ又右ノ危殆ヲ現在ノ進行ニ放任スル時ハ忽チ吾人ノ左右シ得ベカラザル

程度ニ到達スベキガ故ニ又加州市民ハ今ヤ此ノ危殆ノ存在及ビ加州ノ将来ニ覚醒シ其ノ利益ヲ防護シ白人種子孫ノ為メ土地ヲ保存スルコトヲ必要トスルガ故ニ又現在ノ禍害ハ適當ナル立法ニ依リ阻止シ得ベク且斯ノ如キ措置ハ猶予ナク之ヲ為サル可カラザルガ故ニ將又当州議會ハ右ノ如キ重要ナル問題ヲ審議スル為メ一九二〇年一月ヨリ晚カラザル時期ニ於テ臨時州會ノ召集ヲ見ルノ必要アリト感ズルモノナルヲ以テ爰ニ上院ハ下院ノ共同ニ依リ決議スルコト左ノ如シ

加州知事「ステブンス」閣下ヲ補助シ及ビ右臨時州會召集ノ必要ヲ説得スル為メ上下兩院議長ハ兩院ヨリ各三名ノ議員ヲ指名スベキコト及ビ

当州議會ハ今日以後一九二〇年一月五日即チ斯ノ如キ立法制定セラル、コトアルベキ時期ニ至ル迄帰化權ナキ外國人又ハ其經營スル会社ニ対スル土地ノ売渡シ又ハ貸与ヲ拒ムベキコトヲ善良ナル市民ニ対シ要求スル旨ノ宣言ヲ直チニ発セラレンコトヲ知事ニ要求スルコト

在米大使へ電報セリ

在北米各領事ホノルルへ郵送セリ

(別電二) 十一月二日在桑港太田總領事領内田外務大臣宛電報

第一七八号別電第二

加州議會ノ決議ニ関スル加州知事ノ「ステートメント」

第一七八号 別電第二

日本人問題ヲ審議スル為メ一九二〇年一月五日以前ニ臨時州會ヲ召集スル様上下兩院ヨリ余ニ対シ要求アリタルヲ以テ本件ニ関スル卑見ハ既ニ前ニ公表シタルモ茲ニ再ビ是ヲ公ニスルヲ妥當ナリト思考ス

先ヅ余ハ該問題全体ノ如何ニ重要ナルカヲ最モ深く了解シ居ルモノナルヲ斷言シテ憚ラズ実ニ吾人加州人ハ米大陸ノ西端ニ居住シ人口過剰ナル同化シ難キ國民ト同一海洋ヲ挾ンデ相對峙スルモノナルヲ以テ東部ノ人士ノ想到セザル問題ニ逢着シツ、アリスノ如キ問題ガ存在シ且是ニ対シテ注意ヲ払ハザルベカラザル經濟的狀態ノ發生シタルコトヲ説クモ日本國民ヲ誹謗スルコト、ハナラザルベシ蓋シ飯ニ日本ニ於テ是ト同一ノ情態生ゼンカ日本國民ガ其ノ対策ヲ講ズルハ至當ナレバナリ從ッテ吾人加州人ガ国内ニ於ケル斯クノ如キ形勢ニ対応セント努ムルモ亦當然ノ事タルヲ感ズ而シテ仮令合衆國トシテ是ヲ等閑ニ附スルモ加州ハ自己ノ經濟的防護ニ十分ナル立法ノ手段ヲ有ス斯ノ如キ法律ノ制

定ヲ欲スルニ付決シテ人後ニ落チザルモノナリ然レトモ現在ハ平常ノ時勢ニアラズ即チ平和ヲ目的トスル講和条約ハ米國ノ関スル限り未ダ確定ニ至ラズ世界ノ政局ハ尚頗ル機微ノ状態ニアルヲ以テ此ノ際我ガ州民ノ輕挙ハ如何ナル難局ヲ醸サヤモ計ルベカラズ且又州監督局ハ加州ノ態度ヲ適切ニ決定シ賢良ナル立法ヲナスニ必要ナル調査ニ從事シツツアリ旁々其ノ報告ヲ参考シ得ルニ至ル迄ハ暫ク本問題ノ解決ヲ急ガザルヲ得策トス

本問題又ハ其ノ他ノ問題ノ為臨時州會ノ召集ヲ余ニ請求スルハ議會ノ權能ナルト同時ニ斯ノ如キ州會ノ召集ニ関スル責任ハ余ニ係ルモノナルヲ以テ請求ヲ拒否スルハ余ノ權限ニアリ

以上ノ諸理由ニ依リ余ハ目下臨時州會ヲ召集スルコトナカルベク又現在ノ異常ナル形勢終リヲ告ゲ又監督局ガ必要ナル資料ノ蒐集ヲ了スル迄ハ本問題ニ付何等ノ措置ニ出デザルベキヲ確言ス

以上在米大使ニ電報シ在米(合衆國)各領事ホノルルへ郵送セリ

五一 十一月五日

在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州知事ハ日本人問題ノ為ニ臨時州議會ヲ召
集スルコトナカルベシトノ情報報告ノ件

第三五号

桑港発外務大臣宛電報第一七八号ニ関シ牛島ガ「ジョーヂ
コ克蘭」ノ談話ナリトテ本官ニ語ル所ニ拠レバ知事ハ十
一月四日「コ克蘭」ノ許ニ使ヲ遣ハシ日本人問題ノ為メ
ニ同人ガ臨時州會開會ニ反対シタル趣旨ハ充分ニ了解シ居
レリ從ツテ婦人問題ノ為メニハ過日州會ヲ召集シタルモ日
本人問題ノ為メニハ決シテ州會ヲ召集セザルニ付安心セラ
レタシト語リタレバ知事ガ其ノ通り実行スルモノト信ズト
述ベタリトノコトナリ
在米大使ヘ転電セリ
在桑港総領事ヘ郵送セリ

五二 十一月八日

在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

桑港市参事會員ガラハ排日決議案ヲ市参事
會ニ提出ノ件

在ロスアンゼルス

領事 大山卯次郎(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

「フィーラン」「インマン」ノ両氏カ「ハースト」新聞紙ト
共ニ過去數箇月間頻ニ排日思想ノ宣伝ニ努力シツ、アルコ
トハ其都度及御報告置候処本月七日發行当地「エグザミナ
ー」ノ報スル所ニ依レハ最近南加州ニ於テ排日ノ主義ニ贊
同シ其決議ヲ為シタルモノハ別記ノ諸団体ナリトノコトニ
有之候是等ノモノカ今後同目的ノ為メ如何程ノ活動ヲ為ス
ヘキヤハ予知致難ク候ヘ共目下ノ処排日ノ意見ハ何トナク
一般ノ人氣ニ適ヒ若干ノ運動者カ背後ニ在リテ或煽動ヲ為
ス時ハ大抵ハ其欲スル儘ニ決議ヲ通過シ得ルカ如キ状態ニ
有之「フィーラン」「インマン」等ハ常ニ巧ニ之ヲ利用シ新
聞紙ノ誇張的報道及排日論ト相俟チ不斷ノ努力ヲ以テ組織
的ニ其運動ヲ進メツ、アルニ依リ当地今後ノ形勢ハ我ニ取
リ決シテ樂觀シ難キモノト存候右御報告申進候 敬具

本信写送先在米大使、在桑港総領事

(附屬書)

排日決議ヲ為シタル南加州ノ諸団体

一一 米國各州ノ排日問題雜件 五四

第一八一号

当市市参事會員「ガラハ」ハ此際日本移民及ビ土地ニ関ス
ル態度ヲ決スル必要アリトシテ之ニ関スル決議案ヲ市参事
會ニ提出シ同會ハ本月十日之ヲ議スベク尚該案ハ排日法ヲ
議スル為メ知事ヲシテ臨時州會ヲ召集セシメントスル決議
案ヲモ包含シ居ル旨新聞ニ伝ヘラレタルニ付「ロルフ」市
長ニ面會事情ヲ取調ベントシタル処同市長ハ旅行外出中ニ
テ其意ヲ得ズ依リテ秘書「レニー」ニ面會シタルニ同人ハ
斯ノ如キ事情ヲ知ラザルモ何レ市長ハ會議迄ニ帰桑スベキ
ニ付直チニ本官訪問ノ次第ヲ語リ出来得ル限り決議通過ヲ
妨グル様尽カス可キ旨ヲ約セリ本件ハ商業會議所「リンチ」
氏ニモ相談シタレドモ一向思ヒ付キモ無ク当惑ノ態ナリキ
在米大使ヘ転電セリ

五三 十一月十日

在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛

南加州ニ於ケル諸団体ノ排日決議ニ関スル件

附屬書 排日決議ヲ為シタル南加州ノ諸団体

公第二二二二号

(十二月九日接受)

大正八年十一月十日

Native Sons of the Golden West.
Native Daughters of the Golden West.
Federation of State Societies.
California Oriental Expulsion League.
State Democratic Central Committee.
American Legion of California.
Fraternal Order of Eagles.
Woodmen of the World.
United Spanish War Veterans.
Kansas Society of Los Angeles.
Nevada Society of Los Angeles.
Orange County Chamber of Commerce.
Jinnistan Grotto, Veiled Prophets.
Michigan Society of Los Angeles.

(From Los Angeles EXAMINER.)

五四 十一月十一日

在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

桑港市参事會ガ日本人ノ借地禁止法制定ノ為
臨時州議會召集方決議ノ件

第一八五号

往電第一八一号ニ関シ

十一月十日市参事会ハ遂ニ知事ニ対シ日本人ノ借地禁止法制定ノ為メ来年一月臨時州会召集ヲ要求スル決議ヲ満場一致通過セシメタリ
在米大使ヘ電報セリ

五五 十一月十一日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

加州排日臨時州会防止方ニ関シ幣原在米大使

ニ上申ノ件

附屬書 同日太田總領事発幣原在米大使宛機密華第四四号写
号写

機密公第四六号 (十二月九日接受)

大正八年十一月十一日

在桑港總領事 太田 為 吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

大正八年十一月十一日附在米幣原大使宛機密華第四四号信
写送附

一、排日法臨時州会防止方ニ関シ上申ノ件

(附屬書)

機密華第四四号写

大正八年十一月十一日

在桑港

總領事 太田 為 吉

在米

特命全權大使 幣原喜重郎殿

排日臨時州会防止方ニ関シ上申ノ件

十一月一日「サクラメント」ニ開会セラレタル加州臨時州会カ排日法制定ノ為メ来年一月五日以前ニ臨時州会ヲ召集セシコトヲ知事ニ請求スル旨ノ兩院共同決議ヲ通過シタル次第ハ外務大臣宛拙電第一七八号(即チ閣下宛第一四〇号)報告ノ通ニ有之右ニ関シ當時形勢視察ノ為メ「サクラメント」ニ派遣シ置キタル「ガイ」博士ガ帰米本官ニナシタル報告ヲ更ニ書面ニテ提出セシメ候ニ付為御参考別添第一号供貴覽候右報告書記載ノ通り「ガイ」博士ハ同地ニ於テ今回ノ排日州会決議案ノ提出者タル上院議員「インマン」其他ノ者トモ会談シ議場ノ模様ヲモ目撃シタル上知事ハ遂ニ排日臨時州会ノ召集ヲ余儀ナクセラルベシト信スル旨ノ觀

察ヲ齎シ又州行政部ノ議會ニ於ケル「スポークスマン」ニシテ今回ノ決議案ニ反対シタル州上院議員「ケーホー」カ二、三日前河上清ト会见ノ際知事カ右決議ヲ容レテ一月五日ノ召集ヲナスコトハ無之モ夫レ以後ニ於テ或ハ大勢ニ圧迫セラレ遂ニ屈スルコト無キヲ保スベカラズト語リタル由ニ有之元来排日臨時州会ニ関スル今回ノ運動ハ合衆国上院議員ニ再選セラレンコトヲ熱望セル「フイーラン」同下院議員ニ席ヲ狙ヘル「インマン」及現知事ノ後ヲ襲ハントスル州會計官「チェンバー」等ガ急速排日立法ニ成功シ来年ノ選挙ニ対スル政治的資本ヲ造ラントスル方策ニ出デタルモノト見ルヲ得ベク從テ今後ニ於ケル彼等ノ作戰計画トシテモ来年ノ選挙期ニ至ルマテノ間ニ可成早ク排日臨時州会ヲ開キ排日立法ヲ通過セシメント工夫ヲ凝ラスベク知事ノ立場トシテハ彼等ノ術策ニ弄セラレザルノ覚悟充分ナカルベカラザル筈ナルモ既報ノ通り現知事ハ意思軟弱ナリトノ取沙汰專ニシテ現ニ今回ノ臨時州会召集問題ニ対スル態度ニ見ルモ臨時州会前ニナシタル「ステートメント」ニ於テハ日本人問題ハ臨時州会ノ題目トスルニ適セスト声明シナカラ今回ノ決議ニ対スル「ステートメント」ニ於テハ排日立

法ヲ希望スルニ於テ人後ニ落チス云々ト述ヘ居ルノミナラズ中央ニ於ケル条約批准問題及日本人ニ関スル調査完了セバ排日問題ノ為メ臨時州会ヲ召集スルモ差支ナキコトヲ仄カシ居ル事情ナルヲ以テ知事現在ノ不召集ノ態度ハ到底永ク信憑スベカラザルモノニ有之然ルニ一方中央ヨリハ「フイーラン」ハ十一月一日州会ニ電報ヲ送り加州ガ此際排日立法ヲナスモ何等条約批准問題ニ影響ヲ与フルモノニアラズ上院ノ政府側院内總理ニシテ外交委員会ノ筆頭タル「ヒチコック」氏ノ予ニ答ヘタル所亦然リトテ排日立法ヲ促シ同時ニ「サクラメント」ビ「新聞」ニ対シテモ長文ノ電報ヲ送り排日立法ニ関シ中央政府ガ何等干渉セザルベキコトヲ確信ス云々ト述ベタル上「ヒチコック」氏ノ書面ヲモ同紙上ニ發表シ又当州選出上院議員「ジョンソン」ノ如キモ十一月三日「ビー」ニ対シ加州ノ排日立法ガ構和問題ニ何等累ヲ及ボス虞ナキ旨ヲ電報シ来リテ共ニ知事ノ第二回「ステートメント」ノ第一理由ヲ失ハシメントシ同時ニ地方ニ於テハ「インマン」ハ知事ノ「ステートメント」ニヨリ吾人ノ決心ハ翻ルモノニアラズ飽迄モ排日臨時州会ノ召集ヲ見ザレバ止マズト声明セル有様ニテ彼等排日連ハ今後一層

躍起運動ヲ試ムルコト明ナル処一般の排日ノ大勢ヲ背景トスル彼等ノ此運動ニ対シ知事ハ今後何時マデ今日ノ態度ヲ維持シ得ベキカ前記ノ如ク知事自ラ排日法ノ制定ヲ欲スルニ於テ敢テ人後ニ落チザル旨ヲ公表セルニ見レバ排日臨時州会ノ召集ハ単ニ時日ノ問題トナレルカノ如キ傾モ有之數日前「アレキサンダー」ト共ニ知事ヲ訪問セル商業會議所「リンチ」ノ本官ニ語ル所ニ依ルモ彼等兩人ハ勿論知事ニ臨時州会ヲ召集セザル様忠告シ知事モ現在ノ態度ヲ持續スル積ナル旨語りタルモ何分周囲ノ圧迫甚ダシキヲ以テ今後ノ雲行ハ逆睹スベカラサルモノアルカ故ニ此上ハ中央ヨリ知事ヲ牽制スル外策ナシト云フニ在リ（本官ハ序ニ臨時州会ヲ憂フルハ排日法ノ成立ヲ恐ル、カ故ニシテ幸ヒ知事カ一月ニ臨時州会ヲ召集セザルモ明後年一月ニハ通常州会開催セラレ排日法案ノ提出セラル、ハ必然ニシテ且最近臨時州会ニ決議ガ通過セシ実況ニ徴シ該法案ガ容易ニ通過スベキハ今日ヨリ予想シ得ル処之ニ関シ何等對抗方法トシテ思付キナキヤヲ試問シタルモ「リンチ」ハ何等策ナキヲ語り商業會議所トシテハ在米日本人会ト離レテ出来得ル丈尽力シタキ積ナルモ問題ハ中央ニ大關係アルヲ以テ大使館ニ於

テ何等カ画策セラル、ガ最モ必要ナリト附言シ頗ル当惑セルモノ、如ク見受ケラレタリ）差当リテノ之カ対策トシテハ中央ノ可然筋ヨリ知事ニ現在ノ態度ヲ持續スル様忠告セシメ我方ノ策戰考案ニ時日ノ猶予ヲ与フル傍一方「フィーラン」一派ノ排日言動ヲ制スルニ在リ而シテ同人ハ中央ニ於テ輕視セラレ居ルベキモ当州ノ排日氣勢ヲ煽動スルニハ頗ル有力ニシテ之カ為ニハ豊富ナル私財ノ出捐ヲ惜マズ凡百ノ方法手段ヲ講シ居ル始末ニシテ最近ニ於テモ別紙切抜第二号ノ通り日本ヲ罵倒シ日本ガ写真結婚ヲ考案シ紳士協約ヲ破ルコトヲ唱道シ排日熱ノ鼓吹ニ力メ居候間何等カノ方法ヲ以テ彼ノ行動ヲ制肘スル様御工夫相成度聞ク所ニヨレハ同人ハ「ウキルソン」大統領ヲ特ニ尊敬シ其願使ニ甘ンズル漢ナルヤニモ有之又在米日本人会ガ写真結婚廢止ニ関スル公表ヲナシタルヲ聞キテ之ヲ歡迎シ且日本政府モ之ニ鑑ムル所アルベキヲ信ズト語り居ル趣（別紙新聞切抜第三号）ナルニ付此間ノ消息ヲ辿リ我官民ノ誠意ヲ説示スルト共ニ彼モ亦其言動ヲ慎ムノ必要アルコトヲ適當ノ筋ヨリ勸告セシメハ或ハ幾分効果アラムカト愚考致候此点ニ付何分ノ御高慮相仰キ度事情具陳此段及上申候 敬具

追テ前記新聞切抜ノ外「ヒッチコク」氏カ「フィーラン」ニ寄セタル書面トシテ「サクラメント、ビー」新聞ニ掲載セラレタルモノノ写（第四号）為御参考添付致候

本信写送附先外務大臣併ニ羅府大山領事

註 添附書類ヲ省略ス

五六 十一月十二日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

米國在郷軍人会ノ全国大会ニ於テ排日の決議

採択ノ件

第一八八号

「ミネソタ」州「ミニアポリス」ニ開會中ナル American Legion ノ全国大会ニ於テ加州代表者ヨリ帰化權ナキ外国人ノ土地所有及賃借禁止決議案ノ提出ヲ見ルヘキ旨本月十日ノ当地新聞ハ報シ居リ其後ノ成行ニ付テハ未タ報道ナキモ十二日同地発新聞電報ハ右全国大会カ同日太平洋沿岸ニ於ケル日本人ノ進入ヲ阻止スルコト紳士協約ヲ破棄スルコト及直ニ写真結婚婦人ノ輸入ヲ禁止スルコトノ三事項ヲ中央議會ニ請願スヘキ決議案ヲ通過シタル趣報セリ
右在米大使ヘ電報セリ

五七 十一月二十日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

加州チコ及コルサ地方ノ排日運動ニ関スル件

第一九四号

日本人ガ米作ニ成功セル「チコ」及「コルサ」地方ニ於テモ最近排日熱盛ニシテ數日前開會セシ州内果物耕作具及苗木商大会ニ於テ排日法制定ノタメ知事ニ臨時州会召集ヲ要求スル決議其ノ他日本人ニ家屋売渡ヲ禁ズル決議等ヲ為シ居リ其ノ動機ノ一ハ米作成功ヲ妬ムニアルモ他ニ「フィーラン」一派ノ排日家が運動シ居ルコトモ明カナリ同人ノ「マート」郡農場管理人 D. J. Murphy ナルモノ、言ニ依ルトキハ「フィーラン」ヨリノ来信中ニ「此頃一日本人在東京米國大使ノ書面ヲ持參シ加州ヲ分割シ州内ノ米作地方帝國平原ヲ日本人ニ与ヘムコトヲ提議セリ」トアル旨ヲ公表シ同地方ノ衆愚ヲ煽動シ居ル様子ヲ新聞ニ見受クル処右米國大使ノ書面云々ハ事實ナルベキヤ又如何ナル日本人ニ之ヲ与ヘタルカ差支ヘナクバ一応御問合せノ上結果御電示ヲ請フ
在米大使ヘ電報セリ

五八 十一月二十日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

Native Sons of the Golden Westノ地方

代表者ノ排日運動報告ノ件

第一九七号

Native Sons of the Golden West^(註)ノ地方代表者ハ排日問題決議ノ為十一月十九日当地ニ会合シ(拙電第一四九号)日本人排斥協會ノ目的事項ヲ決議シ「フイーラン」ニ向ケ同人ノ排日運動ヲ支持スベキ旨申送ル事トセル趣ナリ
在米大使ヘ電報セリ

註 前掲五三文書ノ附屬書参照

五九 十一月二十五日

内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

加州ノ排日臨時州議會召集阻止ノ必要ニ関シ

埴原外務次官ヨリ在本邦米國大使ヘ談話ノ件

第七八〇号

十一月十八日在本邦米國大使他用ニテ米省ノ際埴原次官ヨリ同官ノ私見トシテ昨今加州ニ於ケル排日運動ノ形勢ハ誠ニ憂慮ニ不堪モノアリ排日法律制定ノ為メ来年一月早々臨

時州会ヲ召集スヘシトノ議ハ加州各方面ノ排日論者ニ依リテ盛ニ提唱セラレツアルモノノ如ク現ニ先般桑港市会決議ノ次第モアリ幸ヒ今日迄ノ処ニテハ州知事「スチーブンス」氏ニ於テ右臨時州会召集ノ議ニ対シ強硬ナル反対ノ態度ヲ執リ居ラルル模様ナルモ若シ排日論者ノ要求ニシテ益々盛ナルニ至ラハ同氏ト雖モ或ハ遂ニ動カサルルニ至ルヤモ計リ難ク万一不幸ニシテ臨時州会召集セラルレハ人心ノ興奮セル際如何ナル苛酷ノ排日案ヲ通過スルヤモ知ルヘカラス果シテ然ラハ其ノ結果本邦ニ於テモ輿論ノ激昂ヲ見ルニ至ルヘク兩國々交上甚タ心痛ニ不堪次第ナリ然レトモ臨時州会ニシテ召集セラレサルニ於テハ定期州会ノ開会迄ハ尚一年間ノ余裕アルヲ以テ其間ニハ冷静ニ問題ヲ審議シ適当ノ救済策ヲ施スコトヲ得ヘク現ニ在米日本人会ハ自ラ進ミテ写真結婚ノ廃止ヲ宣言セルカ藉スニ日時ヲ以テセハ同宣言ノ趣旨ハ更ニ他ノ日本人会ニ於テモ採用シ実行セラルルニ至ルヘク日本政府ニ於テモ亦之ニ有効ノ支持ヲ与フルノ途ヲ講シ得ヘク排日論者ノ攻撃スル対象ノ重要ナル一部分ハ斯クシテ之ヲ除去スルニ難カラサルヘシト思考セラルルニ付米國政府ニ於テモ此際右臨時州会召集ノ議ニ反対ス

ル「スチーブンス」知事ノ立場ヲ支持シ兎モ角臨時州会丈ハ開カセサル様ニスルコト兩國關係ノ為メ実ニ願ハシキ次第ナル旨申述ヘタル処大使ハ右ハ至極尤ノ義ト思考スル旨答ヘタルカ十九日其要領ヲ國務省ヘ電報シタル由ナリ
本電信參考トシテ在米及「ホノルル」ノ各領事總領事ヘ転電アレ

六〇 十一月二十九日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

加州チコ及コルサ地方ノ排日運動ニ関スル

「ガイ」博士ノ視察報告等ニ付報告ノ件

機密公第四九号

(十二月二十五日接受)

大正八年十一月二十九日

在桑港總領事 太田 為吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

最近華府ヨリ帰米シ居タル「サクラメント、ビー」新聞ノV. S. McClatchyニ「ガイ」博士ヲシテ会见セシメタル際排日協會ノ設立、紳士協約ノ破棄、臨時州会召集ノ必要、中央議會ニ対スル排日運動等ニ関シ「マクラッチー」ノナシタル談話ノ要点ハ拙電第二〇二号所報ノ通ナル処右

一一 米國各州ノ排日問題雜件 六〇 六一

ニ関シ「ガイ」博士ノ提出セル報告書一号別紙為御參考及御送附候將又拙電第一九四号所報日本米作者ノ成功セル「チコ」「コルサ」地方ニ於ケル排日臨時州会召集決議其他ノ排日氣勢ニ関シ実情視察旁々又若シ出来得ベクンバ同地方ニ於ケル対日好感情者ヨリ臨時州会ヲ召集セサランコトヲ知事ニ慫慂方運動ノ為メ「ガイ」博士ヲ同地方ニ派遣シタル処同博士ハ「チコ」地方ノ排日ハ主トシテ「ビュート」郡内(「チコ」ハ同郡内ニアリ)ノ「フイーラン」農場管理人 Murphy 及州上院議員「インマン」カ「フイーラン」ノ手先トナリテ細工ヲナシタル結果ニシテ次第ニ熾ナラントシツ、アリ又「コルサ」地方ニ於ケル排日ハ主トシテ日本農業者ノ成功ヲ嫉ム經濟的理由ニ出ツルモノ、如シトノ報告ヲ齎シ尚「ビュート」郡ニ於テハ一二ノ対日好感情家ト会谈シタル趣ニテ別紙第二号ノ通り報告書ヲ提出シ候ニ付委細ハ右ニテ御承知相成度此段及報告候 敬具
本信写送附先在米大使

註 添附書類ヲ省略ス

六一 十二月一日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

五三

加州排日協會ノ排日臨時州會召集要求運動報告ノ件

第二〇六号

十二月一日当地新聞ニ依レバ加州排日協會ハ今日迄ニ排日臨時州會召集要求ヲ決議シタル各種ノ組合、協會、俱樂部等ニ向ッテ其決議ヲ一斉ニ州知事ニ送ランコトヲ促セル由尚右排日協會ハ二日「サクラメント」ニ集会スル趣ナルニ付愈々知事ニ積極的運動開始ヲ議スルニアラザルカト推測セラル

在米大使へ電報セリ

六二 十二月三日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州選出下院議員ノ日本人排斥運動報告ノ件

第二〇九号

十二月二日ノ「サクラメント」新聞通信ニ依レバ当州選出中央議會下院議員「シー、エフ、カリー」ハ今議會ニ紳士協約ヲ破棄シ日本人及ビ東洋人ヲ排斥スベキ決議案ヲ提出スベキ旨 American Legion ニ通信シ之ニ対スル在郷軍人ノ援助ヲ請求シ来リ又同下院議員「カーン」モ日本人排斥

運動ヲ支持スベキ旨 American Legion ニ誓約シタル由ナリ

在米大使へ電報セリ

ロスアンジェルス領事へ郵送セリ

六三 十二月四日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州諸団体ノ排日臨時州會召集要求運動報告ノ件

第二一三号

拙電第二〇六号加州排日協會ノ運動ニ関シ彼等ハ其ノ主張スル臨時州會召集期ガ次第二接近スル為メ益々猛烈ナル運動ヲ開始シタルモノ、如ク排日決議ヲ為シタル既報ノ諸団体ノ外「アメリカン、レジョン」「サクラメント」支部ハ本月二日、「ソラノ」郡 Farm Bureau ハ 昨三日又 California Farmers Co-operative and Educational Union ハ同日「オーダー」ニ於テ各々排日ヲ目的トスル集會ヲナシ「インマン」ハ右各集會ニ臨ミ各臨時州會召集ヲ知事ニ要求スル旨ノ決議ヲ通過セシメタル有様ニテ形勢益々不安トナリ殊ニ右ノ内最後ノ団体ノ如キハ全州ニ亘ル組織体

ナルヲ以テ其ノ決議ノ影響スル所頗ル大ナルハ注意ヲ要ス可ク其他「ネテブ、サンス、オヴ、ゼ、ゴールデン、ウエスト」ハ其既決ノ排日決議事項ノ外排日土地法違反ヲ防グ為メ会社ニ解散ヲ命ズル権限ヲ検事総長ニ附与スルノ案ヲ臨時州會ニ提出ス可シトノ新決議ヲナシ又本月二日「ブラザ」郡 Realty Board ナルモノ新ニ組織セラレ日本人ノ土地所有ニ反対スルコトヲ標榜シ活動ヲ始メ居ルガ如キモ注意ヲ要スルコトト思ハル

在米大使へ電報セリ

六四 十二月二十日

在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛

オレゴン州内排日運動ノ経過報告ノ件

機密公第一三号

(大正九年二月四日接受)

大正八年十二月二十日

在ポートランド

領事 杉 村 恒 造(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

本年九月当州「フード、リバー」ニ於テ突発シタル排日運動ニ関シテハ曩ニ九月二十三日往電第五五号及十一月二十

二 米國各州ノ排日問題雜件 六四

八日往電第六三号ヲ以テ及報告置候通ニ有之候処右往電中所述ノ排日団員ガ各自署名シタル所謂誓約書ノ内容ハ別紙甲号写ノ通りニ有之向後完全ニ帰化シ能ハザル外人並ニ其ノ子孫ノ名義ニ於テモ土地ノ所有ハ勿論之ヲ賃借スルコトヲ許サザラントスル趣旨ノ私約ヲ作りテ巧ニ極端ナル排日運動ヲ為スモノナレバ同地方ニ於ケル米人間ニ彼等ノ行動ニ反対スル一大運動ノ起ラザル限リハ右排日派間ノ私約ヲ破棄セシムルコトハ甚ダ困難ト思考セラルルモ不取敢該地在留邦人ヲシテ緩和運動ヲ行ハシメタル結果邦人ニ好意ヲ表シ排日ノ謂ハレナキヲ唱フル温和派漸次増加ノ傾向ヲ来シタルモ此種温和派ト雖モ今回ノ排日運動ニ対シテハ進シデコレヲ打破セントノ積極的態度ニ出ヅルニ躊躇シ寧ろ好意的中立乃至微温の親日ノ態度ヲ採ルニ過ギズ從ツテ排日団体ノ勢力毫モ衰ヘザルノミナラズ却テ漸増ノ兆アリテ当初約五十名ノ排日団員ハ最近約二百五十名ヲ算スルニ至レリ而シテ素ト該地今回ノ排日運動ニ対シテハ同地方ノ在郷軍人団ガ陰ニ其ノ後援ヲ為スノ事實アリタル処十月十二日「ミネアポリス」市ニ開カレタル西北部在郷軍人団代表者會ハ当「オレゴン」州代表者ノ熱心ナル主張ニ動カ

サレテ一、紳士協約ノ廢棄二、写婚ノ禁止三、日本移民ノ絶對禁止四、亜細亞人種ノ帰化禁止法制定五、父母ガ帰化不能ナル米國出生兒童ノ米國市民タリ得ザルコトニ憲法ヲ修正スル要求ノ五ヶ項ヲ決議シタルガ十二月四日往電第六四号報告ノ通り十二月三日当州「ゼ、ダラス」ニ開催サレタル農事改良組合支部大会ニ於テハ別紙乙号写ノ通り亜細亞移民ハ合衆國及属領ヘ渡航シ得ズ日本人並ニ其ノ子孫ノ土地所有權ヲ禁止シ且ツ共同経営等ノ形式ニ依ル土地所有權ヲモ絶對ニ禁止スル法律ノ制定ニ努力スルヲ期スル旨ノ決議ヲ通過シタリ而シテ一方既報在桑港牛嶋謹爾ガ米人ト折半共同シテ当州中央部「ブレンビル」附近ニ馬鈴薯栽培ノ目的ヲ以テ一万三千九百英加ノ土地ヲ買収シタル一事ハ時節柄イタク州内一部人士ノ注意ヲ喚起シ当地「テレグラム」紙等ノ排日派新聞ハ針小棒大ノ記事ヲ掲ゲテ牛島馬鈴薯王ハ今後州内ニ日本人労働者ノ大部隊ヲ輸入スベク州内ノ目抜耕地ハ漸次日本人ニ併吞セラルノ虞アリト批難シ之ニ對シテ牛島側ノ米人「バート」ハ牛島氏ハ其僅少ナル自己ノ持分ヲ米人ニ讓渡シ該土地買収会社ト關係ヲ断絶シタル旨ヲ發表シタルニ拘ラズ州内「デシェーツ」郡農業組合

ハ牛島土地買収ノ事實如何ニ関セズ「オレゴン」州内ニ日本人ノ土地所有權ヲ禁ズル法律ヲ制定スル様州知事ニ請願セントスルノ運動ヲ開始シタル事實アル等排日の運動ハ今ヤ州内随処ニ拡ガラントスル形勢ナシトセズ而シテ前述「ゼ、ダラス」ノ決議西北部在郷軍人代表者ノ決議及「デシェーツ」農業組合ノ運動等何レモ排日の立法ヲ要求シ又「フッド、リバー」ノ一派モ実ハ一昨年外人ノ土地所有禁止法案ヲ提出シタルコトアル前州上院議員ニシテ戦地ヨリ帰還シタル「ウキルバー」ヲ始メ何レモ排日の立法運動ノ共鳴者ニシテ只立法運動ハ効力ヲ生ズル時期遅レ其間ニ於テ邦人ノ土地購買者増加スル虞アルヲ以テ直チニ功ヲ奏スヘキ排日の私約ノ挙ニ出デタル次第ニ外ナラズ即チ州内排日運動ノ一般的形勢ヨリ看テ来ルベキ州議會ニハ何等カ排日立法案ノ提出無クシテ休マサル情態ナル処今回十二月十日往電第六五号報告ノ通突然一九二〇年一月十二日ヨリ臨時州議會開催ノ事ニ決シタル旨發表サレタル次第ニシテ右臨時議會開催中關係者側ヨリ排日立法案ノ提出ハ到底免レ難キ情態ト思料セラルルニ付小官ハ此際州知事ノ臨時州議會ニ關スル意見等探聞旁十二月十七日不取敢首府「セー

ラム」ニ知事「オルコット」ヲ訪問シタル処知事ハ小官ノ質問ニ答ヘテ臨時州議會召集ノ趣旨ハ婦人投票ニ關スル中央憲法修正承認、労働保險法修正案ノ審議等ニアリテ排日の法案ニ就テハ今日迄ノ処新聞紙上ノ論議以外何等具体的申出ニ接シタルコトナシ而レドモ会期中議員ハ何時ニテモ法案提出ノ權限ヲ有スルヲ以テ将来ノ処ハ確言シ難キモ若シ何等カ排日案出現ノ場合ニハ其ノ成行ヲ見テ臨時考慮ヲ加ヘ十分ニ兩國親善ノ為メ尽力スベキ旨ヲ言明シ又牛島土地ノ件ニ付テハ該土地買収会社長ノ談ニ依レバ全ク無根ナルガ如シト語り尚右臨時州議會ノ会期ニ關シテハ例年ノ例ニ依レハ三四日間ナリシモ州憲法ニ規定セル二十日間以内ハ継続セラルコトアルベキ旨附言致居候

乍去右州知事ノ吾ニ對スル好意的態度如何ニ拘ラズ当州内排日風潮ノ現情ハ略前顯ノ通ニ有之旁本官ハ臨機排日運動發生地方ニ於ケル邦人ヲシテ地方のニ緩和運動ヲ行ハセ居ル外在当地「オレゴン」州日本人会ヲシテ州内各般排日運動ノ緩和乃至排日思想ノ防止ニ對スル具体的対策ヲ講ゼシムルコトトシ十二月十日右日本人会ハ臨時參事会ヲ開催シテ「特別委員ヲ設ケ精確ナル「ステートメント」ヲ公表シ

且ツ臨時州會ニ排日案ノ出現シタル場合ハ応急手段ヲ講ズルコト」ヲ決議シ直チニ之レガ実行ニ着手シタル様ノ次第ニ有之今後トモ当方ニ於テハ官民一致協力ヲ以テ本問題ニ對スル応急策ニ當ル積リニ有之候
右及報告候 敬具

追テオレゴン州ニ於ケル本邦人ノ所有地並ニ借地面積ニ關シテハ十二月十三日往電第六七号所報ノ通り所有地二、八七七英加及借地七、五一七英加ニシテ其中「フリーバー」ニ於ケル本邦人所有地並ニ借地面積ヲ查スルニ左ノ通ニ有之此段申添候

所有地 (所有員數) 一、五五二英加
借地 (借地員數) 八三四英加

寫送付先 在米大使
註 別紙省略

六五 十二月二十二日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

加州モデスト及マーセッド地方ニ於ケル對日

本人形勢報告ノ件

附屬書

同日太田總領事宛在米國幣原大使宛機密華第五
七号寫

機密公第五六号 (大正九年一月十五日接受)

大正八年十二月二十二日

在桑港

總領事 太田 為吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

大正八年十二月二十二日付在米大使宛機密華第五七号信写
送付

一、「モデスト」地方ニ於ケル対日形勢報告

ノ件

(附屬書)

十二月二十二日太田總領事発在米国幣原大使宛公信写

機密華第五七号

大正八年十二月二十二日

在桑港總領事 太田 為吉

在米特命全權大使 幣原喜重郎殿

モデスト地方ニ於ケル対日形勢報告ノ件

最近「ガウ」博士ヲ「サンオーキン」平野ノ一部タル「モ
デスト」及「マーセッド」地方ニ派遣シ同地方ノ対日本人
形勢ヲ視察セシメタル処別紙ノ通り報告書ヲ提出致候ニ付

為御参考供貴覽候 敬具

本信写送付先

内田外務大臣

(別紙)

ガイ博士ノ「モデスト」及「マーセッド」地方ニ於ケル対日本
人形勢視察報告書

MEMORANDUM ON CONDITIONS IN MODESTO-MERCED DISTRICT.

The conditions in Merced and Stanislaus counties is similar to those of Fresno with the exception that the people of these counties are not so familiar with the Japanese people. It would seem to be one of the policies of the anti-Japanese agitators to go to places where the people are not familiar with Japanese conditions or Japanese modes of living or thought and play on the ignorance of the Americans thus arousing anti feelings.

Modesto is a prosperous city in the midst of a fertile agricultural district. At the present time the raising of hay and carrying on the dairy business are the two

located at Livingstone. The land was sold to the Japanese by large land holders and the smaller farmers are beginning to complain that the coming of Japanese is injurious to them in that the competition is growing stronger every year forcing the rents up higher and higher.

I talked here also with the Board of Trade and the general feeling is that something is wrong and that some action should be taken very soon to curb the Japanese menace as they term it.

The movement to take a vote of the Farmers organizations of the State on the Asiatic situation was meeting with favor and will doubtless result in throwing the balance in favor of restrictive measures.

It was here I heard of the results of the action of the Japanese Association Conference rescinding the action of the Board of Directors relative to the "picture brides". The people are saying that this movement to

leading industries. The real estate men are anxious to develop the county and consequently will welcome any immigration which is industrious. They do not feel the need of Japanese labor in this section as in other places so the men engaged in the selling of land are not especially seeking Japanese though they would not hesitate to sell to them should land be wanted. I talked with Mr. Conley, the secretary of the Chamber of Commerce, and he seemed little interested in the matter. I took it his position was not such as to bring him into touch with the immigration problem. He seemed more interested in advertizing the city and county.

I had quite an extended talk with the Secretary of the Board of Trade who was more directly interested in the farm and industrial problems. He was unwilling to have the county settled by an alien race unassimilable and he seemed to think the Japanese were such a race.

The condition about Merced is somewhat different. Here the Japanese have a fairly prosperous colony

perpetuate the old custom of marriage is only one sign that the Japanese as a whole are not in sympathy with our ideas of marriage and consequently are not in sympathy with the fundamental idea of the home. "But of course George Shima is different". This remark I heard from many different people who seem to think he is about the only one who understands American modes of living and thinking. I explained that he is not the only one but that there are many such as he. But they reply that the recent action of this conference shows that the majority are not and are therefore undesirable in our midst, either as residents or citizens.

It seems from my investigations that the special session of the Legislature, if there is to be one, will not be called before the farmers have had a chance to vote on the matter and that will require at least another month. Mr. Alexander reports that their investigation in Pasadena, the home town of the Governor, reveals an intention on the part of the Governor to call an

extra session. The Governor is keeping very quiet on the matter and is said to be in no humor to talk even to his closest friends about the matter. Mr. Alexander reports that he has heard of a "gentlemen's agreement" between the Governor and Senator Inman to call an extra session but no time is set.

In view of the situation I can suggest only one thing to do and that is to keep up this friendly connection with the leaders in different communities and try and get them to see the results of hasty action at a time such as this.

The following important centers have to be visited: Santa Clara valley with San Jose as the center. Salinas valley with Salinas as the important city. The cities of Santa Cruz, Monte Rey, San Juan, King City, Los Gatos. In the San Joaquin valley there remain several important centers. Hanford, Visalia, Tulare, Porterville, and some smaller places.

六六 十二月二十三日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

米國下院議員カーンノ加州ニ於ケル日本人ノ

土地取得及借地問題ニ関スル声明書送付ノ件

附屬書

同日太田總領事発幣原在米大使宛機密華第五九号号

機密公第五八号

(大正九年一月十五日接受)

大正八年十二月二十三日

在桑港總領事 太田 為吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

大正八年十二月二十三日附在米大使宛機密華第五九号信号送附

一、下院議員「カーン」ノ土地問題ニ関スル

「ステートメント」送付ノ件

(附屬書)

十二月二十三日太田總領事発幣原在米大使宛公信号

機密華第五九号

大正八年十二月二十三日

在桑港總領事 太田 為吉

在米特命全權大使 幣原喜重郎殿

二 米國各州ノ排日問題雜件 六六 六七

下院議員「カーン」ノ土地問題ニ関スル「ス

テートメント」送付ノ件

加州選出下院議員「ジュリアス、カーン」ハ華府へ帰任スルニ蒞ミ日本人土地問題ニ付キ各方面ヨリ相談ヲ受ケタリト十二月二十一日長文ノ「ステートメント」ヲ發表シタル処其要旨ハ加州在住日本人ガ兒童名義、後見又ハ会社設立ノ方法ニヨリ土地ヲ取得シ又共同借地人各自ノ名義ニテ同一土地ヲ借り継キ居ルガ如キハ加州外人土地法ヲ潜ルモノナルヲ以テ之ヲ取締ル為メ適當ノ修正ヲ要スト云フニ有之排日論中比較的温和ノ意見ニシテ最近当州内ノ事情ニ鑑ミ将来ニ於ケル排日趨向ノ一面ヲ語ルモノ、如ク觀察セラレ候為御參考別紙「ステートメント」切抜供貴覽候 敬具

註 添附ノ切抜省略ス

六七 十二月二十七日

在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

台灣ニ於ケル日本学校ノ元教員米人ノ反日的

談話報告ノ件

公第三五七号

(大正九年一月二十九日接受)

大正八年十二月二十七日

在桑港總領事 太田 為吉(印)
外務大臣子爵 内田 康哉殿

台北ニ於テ嘗テ我學校教員ノ職ヲ奉シ又哈爾濱ニ於テ
“Russian Daily News”ト称スル一米國新聞紙ノ記者タリ
シ經歷ヲ有スル趣ノ「マクガバーン」ナル者(Mrs. J. B.
McGovern)過般婦米シタル処本月二十四日ノ「サクラメ
ント、ビー」紙ニ同人ノ談話トシテ日本ハ比律賓ヲ合併シ
布哇ヲ領有スルニアラザレバ其ノ領土ノ野心ヲ満足セシメ
ザルベク米國ノ軍力ニ付テハ之ヲ輕視シ朝鮮人ニ對スル虐
待ハ言語ニ絶シ殖民政策ハ失敗ヲ重ネ居レルモ我當局者ハ
本邦ノ実情ヲ隱蔽シ歐米諸國ヲ欺瞞スルニ其手段ヲ選バズ
云々ノ反日の記事ヲ掲載致居候同人ノ經歷ニ付テハ当方ニ
於テ十分判明不致候得共何等御參考迄ニ右新聞切抜添附此
段及報告候 敬具

註 添附書類省略

六八 十二月二十七日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

加州知事ハ日本人問題ノ為ノ臨時州議會ヲ召
集セザルベシト觀測セラルル旨報告ノ件

へ本月十一日州政府ノ或ル吏員カ知事ハ依然中央條約問題
及日本人事情調査未了ノ間召集ヲ肯ゼザル可シト思察セル
旨新聞ニ報シタルト一致シ右召集ノコト無カル可シト予想
シ得ルニ至レリ在米大使へ電報セリ在「シアトル」領事へ
郵送セリ

六九 十二月三十日 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

加州排日臨時州議會召集ノ有無ノ情勢ニ関ス
ル「ガイ」博士報告書ニ付報告ノ件

機密公第六一号 (大正九年一月二十九日接受)

大正八年十二月三十日

在桑港總領事 太田 為吉(印)

第二二九号

加州排日協會ハ本月初メ頃ヨリ愈々躍起運動ヲ開始シ「イ
ンマン」ノ如キハ各地ニ遊説シ地方民ノ会合トサヘ云ヘハ
其種類ノ何タルヲ問ハス出席ノ上排日臨時州會ノ請求ヲ為
サシメントシ其結果此ノ種ノ決議ヲ為シタルモノ殆ト毎日
ノ新聞ニ伝ヘラレ且「アレキサンダー」ノ得タル情報ニ依
レハ知事ト「インマン」トノ間ニハ臨時州會召集ニ関スル
一種ノ默契アリトノコトニモアリタル処一方ニ於テ「フ
イラン」ハ十日前後ニ当地ニ歸リ来リタルモ平常ト異リ一
向排日言論ヲ弄セサリシコト(四)写真結婚廢止ニ依リ日本誣
告ノ有力ナル材料ヲ失ヒタルコト(ハ)排日協會ノ一首領州政
府國務長官「ジョルダン」ハ「インマン」ト意見衝突ノ為
メ脱会シ(ニ)又「インマン」ト共ニ最モ有力ナリシ州政府會
計監督官「チェンバー」ハ病氣ノ為メ協會ヲ去リタルコト
等ノ為メ協會ノ運動上ニ打擊ヲ受ケタル事実アリ一兩日前
「サクラメント」ニ派遣シ置キタル「ガイ」ノ報告ニ依ル
モ彼等排日家ハ最早臨時州會ニ望ヲ有セス又「インマン」
ト知事ノ默契云々モ虚報ナリシト認ム可キ理由アルト同時
ニ知事ニ関スル他方面ノ情報モ臨時州會召集ノ意無キヲ伝

外務大臣子爵 内田 康哉殿

排日形勢ニ関スル「ガイ」博士報告送附ノ件

拙電第二二九号後段ニ関シ「サクラメント」ニ派遣シタル
「ガイ」博士ハ同地ニ於テ「ビー」新聞ノ「マクラッチー」
「インマン」其他ノ排日家等トモ會談ノ結果「インマン」
一派ノ排日家ハ臨時州會ニ望ミヲ有セザルガ如ク又「イン
マン」ト知事トノ間ニ臨時州會召集ニ関スル默契存セザル
ガ如シトノ印象ヲ得テ歸来シ報告書ヲ及提出候間為御參考
別紙供貴覽候 敬具

本信写送附先在米大使

註 添附書類省略ス